

プログラム
第1日/11月3日(金)

11 月 3 日(金) 第 1 会場 (Room A)

第 1 日
第 1 会場

指導医講習会

8:00~8:50

座長：小林 勝弘（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学）

TS てんかんと自動車運転—道交法改正とその影響

Epilepsy and driving: Revisions of Road Traffic Act and their aftereffects

○川合 謙介

自治医科大学医学部脳神経外科

教育講演 1

9:00~9:40

座長：岡田 元宏（三重大学大学院医学系研究科精神神経科学分野）

EL-1 新しい抗てんかん薬 update

Novel anti-epileptic drugs—update—

○杉浦 嘉泰

福島県立医科大学医学部神経内科学講座

AOEC Expert Lecture 1

9:40~10:20

座長：飛松 省三（九州大学大学院医学研究院臨床神経生理学）

AEL-1 Training and Education in Epileptology—From Achieving Competencies to Building Capabilities

○Shih-Hui Lim^{1,2,3}

1) Senior Consultant Neurologist, National Neuroscience Institute, Singapore

2) Group Director, Education, SingHealth 3) Senior Associate Dean, Duke-NUS Medical School

共催：エーザイ株式会社

AOEC Expert Lecture 2

10:20~11:00

座長：中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

AEL-2 Essence of Drug Treatment in Epilepsy

○Byungin Lee

Department of Neurology, Inje University Haeundae Paik Hospital, Busan, KOREA

共催：エーザイ株式会社

特別講演 1

11 : 00~11 : 50

座長：大澤 眞木子（東京女子医科大学名誉教授/大塚駅前診療所）

SP-1 Precision Medicine in Epilepsy

○Samuel Wiebe

Departments of Clinical Neurosciences and Community Health Sciences, University of Calgary,
Canada**Honorary Educational Lecture 1**

13 : 00~13 : 30

座長：高橋 良輔（京都大学大学院医学研究科臨床神経学）

HEL-1 Pathophysiology of cortical myoclonus

○Hiroshi Shibasaki

Emeritus Professor, Kyoto University Graduate School of Medicine

教育講演 2

13 : 30~14 : 10

座長：松本 理器（京都大学大学院医学研究科臨床神経学）

EL-2 新しいてんかん分類（ILAE2017 年版）

New epilepsy/seizure classification (ILAE 2017 version)

○寺田 清人

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

教育講演 3

14 : 10~14 : 50

座長：赤松 直樹（国際医療福祉大学医学部神経内科/福岡山王病院脳神経機能センター神経内科
(Department of Neurology, School of Medicine, International University of Health
and Welfare)**EL-3 てんかん治療ガイドライン 2017**

Guideline 2017 for treatment of epilepsy

○須貝 研司

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

教育講演 414 : 50 ~ 15 : 30

座長：山田 了士（岡山大学大学院精神神経病態学）

EL-4 てんかんの精神症状の診断と治療

Psychiatric symptoms in epilepsy

○松浦 雅人

田崎病院

教育講演 516 : 30 ~ 17 : 10

座長：飯田 幸治（広島大学大学院医歯薬保健学研究科脳神経外科）

EL-5 ぱっと見て読む脳波じっと見て判る脳活動

Quick readable EEG Understandable Brain

○大坪 宏

The Hospital for Sick Children, University of Toronto, Canada

教育講演 617 : 10 ~ 17 : 50

座長：大槻 泰介（てんかん専門病院ベータール）

EL-6 エビデンスに基づく、自動車運転を考慮した患者指導

Evidence based management for the patients with driving a vehicle

○一杉 正仁

滋賀医科大学社会医学講座法医学部門

第 2 会場 (Room D)

シンポジウム 1

9:00~11:00

グリアとてんかん：基礎と臨床のアップデート・インフォメーション

座長：柿田 明美（新潟大学脳研究所）

池田 昭夫（京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座）

【概要】

てんかん原性におけるグリア細胞の役割について、近年、急速に注目が寄せられるようになった。このことは、てんかんの病態形成機序に関する新たな視点からの理解が進められ、その知見は新規治療法開発に向けた新機軸となる可能性を含むものである。本シンポジウムでは、臨床・病理・基礎の視点からこのテーマに関する最新の知見を提示し、その統合的理解を進め、今後の診療・研究の方向性を討論する。（企画：基礎研究推進委員会）

【企画の到達目標】

てんかん原性におけるグリアの役割について臨床医や基礎研究者の関心が高まり、臨床生理・外科治療・病理解析・動物実験など幅広い領域の診療・研究活動を推進する重要知見を提供する。

S1-1 基礎と臨床の包括的研究の重要性

Importance of comprehensive study between basic and clinical research

○前原 健寿¹⁾、橋本 聡華¹⁾、清水 一秀¹⁾、稲次 基希¹⁾、池田 昭夫²⁾、柿田 明美³⁾、井上 有史⁴⁾、渡辺 裕貴⁵⁾、岩崎 真樹⁶⁾、白水 洋史⁷⁾、福田 敦夫⁸⁾、小泉 修一⁹⁾、岡田 元宏¹⁰⁾、大野 行弘¹¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学脳神経外科
- 2) 京都大学医学研究科てんかん・運動異常生理学
- 3) 新潟大学脳研究所神経病理学
- 4) 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター精神科
- 5) 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院精神科
- 6) 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科
- 7) 西新潟中央病院機能脳神経外科
- 8) 浜松医科大学医学部神経生理学
- 9) 山梨大学大学院総合研究部医学域薬理学
- 10) 三重大学大学院医学研究科・精神神経科学
- 11) 大阪薬科大学・薬学部・薬品作用解析学

S1-2 てんかん性 DC 電位とそのてんかん原性機序

Epileptic DC shift and its epileptogenic mechanism

○井内 盛遠¹⁾、大封 昌子³⁾、中谷 光良³⁾、池田 昭夫²⁾

- 1) 京都市立病院
- 2) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座
- 3) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学

S1-3 グリア細胞のてんかん原性：病態病理学的解析

Pathophysiology of glial cells in epileptic focus

○北浦 弘樹¹⁾、白水 洋史²⁾、福多 真史²⁾、藤井 幸彦³⁾、柿田 明美¹⁾

1)新潟大学脳研究所病理学分野 2)西新潟中央病院機能脳神経外科

3)新潟大学脳研究所脳神経外科学分野

S1-4 グリアとてんかん：アストロサイト Kir4.1 チャンネルの病態解析を中心に

Glia and epilepsy : Focusing on pathophysiological alterations of astrocytic Kir4.1 channels in epilepsy

○大野 行弘¹⁾、福田 敦夫²⁾、岡田 元宏³⁾、小泉 修一⁴⁾

1)大阪薬科大学薬学部薬品作用解析学研究室 2)浜松医科大学医学部神経生理学

3)三重大学大学院医学研究科精神神経科学 4)山梨大学大学院総合研究部医学域薬理学

ワークショップ 1

13 : 30 ~ 15 : 30

SEEG の概念と臨床展望 (Stereo-EEG : concept and clinical prospect)

座長：三國 信啓 (札幌医科大学脳神経外科)

加藤 天美 (近畿大学医学部脳神経外科)

【概要】

侵襲的であるが、高い時間分解能で直接記録できる頭蓋内電極による脳波記録が信頼性は高く、同時に脳機能マッピングを可能にする。しかし、これまで用いられてきた硬膜下電極では、脳溝深部や脳深部構造からの脳活動の記録は困難である。近年、深部電極が知見を広げ、硬膜下電極無効例に対して定位的深部脳波 (SEEG : stereotactic EEG) を行って焦点検索が可能になることもあり、その有用性が多く報告されている。

【企画の到達目標】

本ワークショップを通じて、同手法の必要性、適応、実際の手法、導入の課題を明確化して共有することで、安全な導入と普及を目指す。

WS1-1 SEEG 導入の準備

Introducing SEEG to a single institute in Japan—a case of Kyoto University Hospital

○菊池 隆幸¹⁾、稲田 拓¹⁾、小林 勝哉²⁾、國枝 武治³⁾、松本 理器²⁾、池田 昭夫¹⁾、宮本 享¹⁾

1)京都大学大学院医学研究科脳神経外科 2)京都大学大学院医学研究科神経内科

3)愛媛大学大学院医学研究科脳神経外科

4)京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

WS1-2 SEEG の実際

SEEG implantation in practice

○久保田 有一、中本 英俊、宮尾 暁

朝霞台中央総合病院脳卒中・てんかんセンター

WS1-3 SEEG におけるロボットアームの有用性

The effectiveness of the robotic arm for the stereotactic electroencephalography (SEEG)

○前澤 聡^{1,2)}、中坪 大輔²⁾、若林 俊彦²⁾

1) 名古屋大学脳とこころの研究センター 2) 名古屋大学医学系研究科脳神経外科

WS1-4 SEEG の脳機能研究への貢献

SEEG's contribution to neuroscience

○江夏 怜

札幌医科大学医学部脳神経外科

WS1-5 Principles of stereo-EEG

○Hans O. Lüders

Case Medical Center

シンポジウム 4

16 : 30~18 : 00

iPS とてんかん

座長：井上 治久（京都大学 iPS 細胞研究所/理化学研究所バイオリソースセンター創薬細胞基盤開発チーム）

廣瀬 伸一（福岡大学医学部小児科/福岡大学てんかん分子病態研究所）

【概要】

ヒト iPS 細胞の誕生から 10 年が経過し、分化・培養技術の進歩とともに、iPS 細胞から作製した神経細胞やグリア細胞を用いた神経疾患研究が数多く報告されている。iPS 細胞を用いることでヒト細胞を使用した研究が可能であり、見出された細胞の疾患表現型を利用した病態解析や創薬研究が急速に進められている。本シンポジウムでは、iPS 細胞てんかんモデルや神経機能制御技術など、てんかん治療につながる新たな可能性について論じる。

【企画の到達目標】

iPS 細胞を用いた病態解析や創薬研究が急速に進められている一方、神経機能異常としてのてんかんは、ヒト iPS 細胞モデル化の中でも難易度が高く、今後の技術開発の進展が待ち望まれている。本シンポジウムが、今後のてんかん研究の一助となることを期待したい。

S4-1 てんかん研究への応用を目指した iPS 細胞技術開発

Technological development of iPS cells for epilepsy research

○近藤 孝之^{1,2)}、井上 治久^{1,2)}

1) 京都大学 iPS 細胞研究所 2) 理化学研究所バイオリソースセンター創薬細胞基盤開発チーム

S4-2 疾患 iPS 細胞由来の 3 次元立体大脳組織を活用したてんかん研究の展望

Epilepsy research with 3D cerebral tissues reconstructed from iPS cells

○六車 恵子

理化学研究所多細胞システム形成研究センター

S4-3 DREADD と iPS 細胞による脳疾患治療

Application of DREADD and iPS cells to the treatment of brain disorders

○樋口 真人¹⁾、季 斌¹⁾、南本 敬史¹⁾、下條 雅文¹⁾、須原 哲也¹⁾、井上 治久^{2,3)}

1)量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 2)京都大学 iPS 細胞研究所

3)理化学研究所バイオリソースセンター創薬細胞基盤開発チーム

S4-4 iPS 細胞を用いたてんかん関連アッセイ

in vitro functional assay of epilepsy using human iPSC-derived neurons

○鈴木 郁郎

東北工業大学大学院工学研究科

第 3 会場 (Room B-1)

マラソンレクチャー 1

9:00~10:00

座長：福多 真史（国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科）

ML1-1 ビデオ脳波でみる小児の発作

Epileptic seizures in children demonstrated by video-EEG

○池田 浩子

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

ML1-2 vEEG 成人ケーススタディ

Long-term video EEG monitoring in adults

○下竹 昭寛

京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

マラソンレクチャー 2

10:00~11:00

座長：遠山 潤（国立病院機構西新潟中央病院）

ML2-1 小児てんかんの治療

Medical treatment of epilepsy in childhood

○加藤 竹雄

兵庫県立尼崎総合医療センター小児神経内科

ML2-2 てんかんの診断・治療（成人）

Diagnosis and treatment in adult patients with epilepsy

○谷口 豪

東京大学医学部附属病院精神神経科

マラソンレクチャー 3

13 : 30~14 : 30

座長：青天目 信（大阪大学大学院医学系研究科小児科）

ML3-1 てんかん重積状態の概念・治療

Concept and treatment of status epilepticus

○菊池 健二郎

東京慈恵会医科大学小児科学講座

ML3-2 てんかんの食事療法

Dietary therapy for epilepsy

○今井 克美

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

マラソンレクチャー 4

14 : 30~15 : 30

座長：伊藤 ますみ（上善神経医院）

ML4-1 てんかんと遺伝子

Epilepsy and the genetics

○石田 紗恵子

東京医科歯科大学難治疾患研究所

ML4-2 女性てんかん診療のコツ

Treatment of special setting-women with Epilepsy

○渡辺 雅子

新宿神経クリニック

ワークショップ2

16:30~18:00

多施設共同大規模スタディーのために

座長：高橋 孝雄（慶應義塾大学医学部小児科）

兼子 直（湊病院北東北てんかんセンター）

【概要】

日本のてんかん研究において多施設共同大規模スタディーはこれまで十分に行われていない。近年のてんかんに関する共同研究をとりまく現状、課題に関して、基礎・臨床の両面から検討する。これにより、今後の多施設共同大規模スタディーを行なう上での環境整備に関する認識を共有する。

【企画の到達目標】

近年のてんかんに関する共同研究をとりまく現状、課題に関して、基礎・臨床の両面から検討し、理解を深める。

これにより、今後の日本発の多施設共同大規模スタディーを行なう上での環境整備に関する認識を共有する。

WS2-1 抗けいれん薬と抗てんかん薬としての作用機序

Anti-epileptogenesis and anti-ictogenesis

○岡田 元宏

三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座精神神経科学分野

WS2-2 小児難治性てんかんの遺伝要因解明から治療を目指した国内共同研究の必要性

All-Japan collaboration is essential to promote precision medicine for childhood-onset refractory epilepsies based on the identification of genetic etiologies.

○加藤 光広

昭和大学医学部小児科学講座

WS2-3 てんかんの発病防止に関する社会基盤の整備—遺伝情報に依拠した治療導入のための体制整備—

Development of consortium for the prevention of epilepsy

○兼子 直¹⁾、岩城 弘隆¹⁾、廣瀬 伸一²⁾、石井 敦士²⁾、山本 達也³⁾、矢野 珠巨⁴⁾、村松 一洋⁵⁾、池田 昭夫⁶⁾、曾良 一郎⁷⁾、渡辺 雅子⁸⁾、原 広一郎⁹⁾、猿渡 淳二¹⁰⁾、山田 順子¹¹⁾、吉田 秀一¹²⁾

1) 湊病院北東北てんかんセンター 2) 福岡大学医学部小児科/福岡大学てんかん分子病態研究所

3) 弘前大学医学部周産母子センター 4) 秋田大学医学部小児科

5) 群馬大学大学院医学研究科小児科 6) 京都大学医学研究科てんかん・運動異常生理学

7) 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野 8) 新宿神経クリニック 9) 浅井病院精神科

10) 熊本大学大学院生命科学部薬物治療学分野

11) 弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学分野

12) 浜松医科大学医学部総合人間科学

WS2-4 希少てんかんのレジストリ

Rare Epilepsy Syndrome Registry (RES-R)

○井上 有史

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

第 4 会場 (Room B-2)

シンポジウム 2

9:00~11:00

高齢者てんかん (脳卒中後、重積、認知症、自己免疫)

座長：溝渕 雅広 (中村記念病院神経内科・てんかんセンター)

木下 真幸子 (宇多野病院神経内科)

【概要】

高齢者の増加に伴い、高齢者てんかんが注目されている。脳卒中は最も多い原因疾患で、多くの知見が集積されている。認知症とてんかんの関連は重要なテーマである。初発てんかん重積状態の治療や予後について見解は定まっていない。高齢者てんかんの多様なトピックスを、ご専門の先生方に解説いただいで最新の知識の理解を深める。

【企画の到達目標】

本シンポジウムでは、高齢者てんかんに関連する様々な病態について理解を深め、発作抑制という治療的側面だけでなく、原因や機序についても理解できるようにする。高齢者てんかんを、様々な視点から検討する機会は稀であり、今回の討論をふまえて、今後さらに臨床研究が進展することが期待される。

S2-1 高齢者のてんかん 総論

Epilepsy in the elderly

○赤松 直樹^{1,2,3)}

- 1) Department of Neurology, School of Medicine, International University of Health and Welfare
- 2) Department of Medical Technology at Fukuoka, International University of Health and Welfare
- 3) Department of Neurology, Division of Neuroscience, Fukuoka Sanno Hospital

S2-2 高齢者のてんかん重積状態

Status epilepticus in the elderly

○吉村 元¹⁾、松本 理器²⁾、池田 昭夫³⁾、幸原 伸夫¹⁾

- 1) 神戸市立医療センター中央市民病院神経内科
- 2) 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座臨床神経学
- 3) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

S2-3 高齢者てんかんと認知症の病態～変性蛋白の脳内伝播と神経活動の観点から～

Pathological relationship between epilepsy and dementia in elderly people

○武田 朱公

大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学

S2-4 高齢者における脳卒中後てんかん

The comprehensive perspective of post-stroke epilepsy in the elderly

○田中 智貴、猪原 匡史

国立循環器病研究センター脳神経内科

S2-5 高齢者てんかんと自己免疫

New-onset epilepsy in the elderly and autoimmune epilepsy

○神 一敬

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

共催：第一三共株式会社

シンポジウム 3

13 : 30~15 : 30 / 16 : 30~17 : 30

KES-JES シンポジウム① AMPA、mTOR 基礎から臨床 (New trend of epilepsy from basic to clinical : mTOR pathway and AMPA)

座長：田中 達也 (やまびこ医療福祉センター名誉院長)

Seung Bong Hong (Department of Neurology, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea)

【概要】

従来の抗てんかん薬は主に GABA 受容体や Na チャンネルをターゲットにした薬剤が主流であった。しかし、近年 mTOR や AMPA など、これまでと異なる分子をターゲットとした薬剤の抗てんかん薬としての可能性が示唆されてきている。本シンポジウムではこれらの新しいターゲットについて基礎から臨床までを議論し、今後の抗てんかん薬について検討する。

【企画の到達目標】

mTOR や AMPA についての基礎から臨床応用までを検討することで、今後の抗てんかん薬の可能性を探る。

S3-1 Mechanisms of “TORopathies” causing Epilepsy

○Hoon-Chul Kang

Division of Pediatric Neurology, Department of Pediatrics, Severance Children's Hospital, Yonsei University College of Medicine

S3-2 Epilepsy and other clinical aspects of deregulation of the mTOR signaling pathway

○小林 勝弘

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学

S3-3 新規 AMPA 受容体 PET イメージング製剤によるてんかん患者脳イメージング

Imaging epileptic patients with novel PET probe for AMPA receptors.

○高橋 琢哉

公立大学法人横浜市立大学医学部生理学

S3-4 The Clinical Aspects of AMPA Antagonist

○Sang Kun Lee

Seoul National University

共催：エーザイ株式会社

KES-JES シンポジウム② Emotional disturbance in people with epilepsy

座長：平田 幸一（獨協医科大学神経内科）

Byungin Lee (Department of Neurology, Inje University Haeundae Paik Hospital, Busan, KOREA)

【概要】

近年、てんかんのある人における感情障害が問題となっている。薬物の影響、外科的治療の影響で感情障害が生じる可能性の他、社会的要因なども大きく関与する。本シンポジウムでは、てんかんのある人の感情障害について様々な観点から議論を行っていただき、問題解決への糸口を検討していただく。

【企画の到達目標】

てんかんのある人における感情障害の診断と治療について明確にし、うつや自殺などを早期発見もしくは予防できるようにすることを目標とする。

S3-5 てんかんの感情障害

Emotional disturbances of people with epilepsy in Japan

○西田 拓司

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

S3-6 Status and management of depression in patients with epilepsy in Korea

○Seung Bong Hong

President, Korean Epilepsy Society Department of Neurology, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea

第5会場 (Room I)

一般演題 口演 1

9:00~10:00

遺伝 1

座長：山形 崇倫（自治医科大学小児科学）

01-1 MECP2 重複症候群に伴うてんかんの検討

Epilepsy with MECP2 duplication syndrome

○柳原 恵子¹⁾、岡本 伸彦²⁾、大星 大観¹⁾、中井 理恵¹⁾、木水 友一¹⁾、池田 妙¹⁾、
最上 友紀子¹⁾、鈴木 保宏¹⁾

1)大阪母子医療センター小児神経科 2)大阪母子医療センター遺伝診療科

01-2 オートファジー関連疾患 Vici 症候群におけるてんかんの臨床的検討

Clinical features of epilepsy in patients with Vici syndrome : Congenital disorder of autophagy

- 堀 いくみ¹⁾、白石 秀明²⁾、野々田 豊³⁾、眞柄 慎一⁴⁾、遠山 潤⁴⁾、岡本 伸彦⁵⁾、熊谷 健⁶⁾、下田 木の実⁷⁾、雪竹 義也⁸⁾、梶川 大悟⁹⁾、根岸 豊¹⁾、服部 文子¹⁾、安藤 直樹¹⁾、齋藤 伸治¹⁾

- 1) 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野
2) 北海道大学病院小児科・てんかんセンター 3) 北里大学小児科 4) 西新潟中央病院小児科
5) 大阪母子医療センター遺伝診療科 6) 和歌山県立医科大学総合周産母子医療センター
7) 東京大学医学部附属病院小児科 8) 茨城県立こども病院新生児科 9) 筑波大学付属病院小児科

01-3 視床下部過誤腫の遺伝子変異と臨床的特徴

Genetic mutation of hypothalamic hamartoma and clinical features

- 東島 威史¹⁾、才津 浩智^{1,5)}、園田 真樹¹⁾、白水 洋史¹⁾、遠山 潤²⁾、増田 浩¹⁾、福多 真史¹⁾、伊藤 陽祐¹⁾、中山 遥子¹⁾、松本 直通⁵⁾、亀山 茂樹¹⁾、藤井 幸彦³⁾

- 1) 国立病院機構西新潟中央病院視床下部過誤腫センター 2) 国立病院機構西新潟中央病院小児科
3) 新潟大学脳研究所脳神経外科 4) 浜松医科大学医学部医科学教室
5) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学

01-4 KCNA2 変異によるてんかん性脳症の日本人初症例

The first Japanese case of epileptic encephalopathy caused by KCNA2 mutation.

- 相原 悠¹⁾、植松 貢²⁾、及川 善嗣²⁾、竹澤 祐介²⁾、大久保 幸宗²⁾、植松 有里佳²⁾、菊池 敦生²⁾、呉 繁夫²⁾

- 1) 八戸市立市民病院小児科 2) 東北大学病院小児科

01-5 覚醒時から入眠期に広汎性徐波が見られ GABRB2 遺伝子異常が確認された症例

A novel GABRB2 gene mutation in a patient with diffuse slow wave from wakefulness to drowsiness : a case report

- 田中 雅大¹⁾、鈴木 基正²⁾、岡井 佑¹⁾、坂口 陽子¹⁾、伊藤 祐史¹⁾、山本 啓之¹⁾、大野 敦子¹⁾、中田 智彦¹⁾、城所 博之¹⁾、根来 民子³⁾、渡邊 一功¹⁾、中島 光子¹⁾、松本 直通⁴⁾

- 1) 名古屋大学医学部附属病院小児科 2) あいち小児保健医療総合センター神経科
3) 日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科 4) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学科

遺伝 2

座長：坂内 優子（坂内小児科医院）

03-1 驚愕病における全国調査（第一報）：遺伝子検査の重要性

National questionnaire survey of Hyperekplexia (First report) ; importance of genetic testing

○美根 潤^{1,2)}、松村 美咲²⁾、東本 和紀²⁾、堀口 淳³⁾、山口 修平⁴⁾、竹谷 健²⁾

1) 静岡てんかん・神経医療センター小児科 2) 島根大学小児科 3) 島根大学精神科

4) 島根大学神経内科

03-2 特異な経過をたどった PROSC 遺伝子変異を有するビタミン B6 依存性てんかんの 1 例

Vitamin B6-dependent epilepsy arising from a homozygous PROSC mutation

○武下 草生子¹⁾、渡辺 好宏¹⁾、藤原 祐¹⁾、蒲 ひかり¹⁾、岡西 徹²⁾、金井 創太郎²⁾、本井 宏尚^{1,2)}、榎 日出夫²⁾、藤本 礼尚³⁾、秋山 倫之⁴⁾、中島 光子^{5,6)}、才津 浩智^{5,6)}、松本 直通⁶⁾

1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター 2) 聖隷浜松病院小児神経科

3) 聖隷浜松病院てんかんセンター 4) 岡山大学大学院発達神経病態学 5) 浜松医科大学医化学

6) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学

03-3 SCN1A および NEDD4L の de novo 変異を認めた新生児期発症てんかんの一例

A case of neonatal onset epilepsy with de novo mutations in SCN1A and NEDD4L.

○稲葉 雄二^{1,2)}、柴崎 拓実²⁾、森川 愛美²⁾、那須野 将²⁾、夏目 岳典²⁾、柳沢 俊光²⁾、本林 光雄³⁾、福山 哲広¹⁾、加藤 光広⁴⁾、中島 光子⁵⁾、松本 直通⁵⁾

1) 長野県立こども病院神経小児科 2) 信州大学医学部小児医学 3) 信州大学医学部新生児学講座

4) 昭和大学医学部小児科学講座 5) 横浜市立大学医学部遺伝学

03-4 KIF5A 遺伝子変異を認めた髄鞘形成不全を合併する West 症候群の 1 例

A case of West syndrome with dysmyelination due to KIF5A gene mutation

○福岡 正隆¹⁾、川脇 壽¹⁾、金 聖泰¹⁾、井上 岳司¹⁾、温井 めぐみ¹⁾、九鬼 一郎¹⁾、岡崎 伸¹⁾、中島 光子²⁾、松本 直通²⁾

1) 大阪市立総合医療センター小児神経内科 2) 横浜市立大学医学部遺伝学

03-5 GNAO1 遺伝子変異に伴う早期発症てんかん性脳症の 1 例

A case of early-onset epileptic encephalopathy with GNAO1 mutation.

○金 聖泰¹⁾、川脇 壽¹⁾、福岡 正隆¹⁾、井上 岳司¹⁾、温井 めぐみ¹⁾、九鬼 一郎¹⁾、岡崎 伸¹⁾、中島 光子²⁾、松本 直通²⁾

1) 大阪市立総合医療センター小児神経内科 2) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学

一般演題 口演 5

13:30~14:30

経過・予後 1

座長：田中 勝治（西宮すなご医療福祉センター）

05-1 60 か月以上の年齢を含めた熱性けいれんの臨床経過について

Clinical course of febrile seizure including older child

- 柏木 充¹⁾、田邊 卓也²⁾、荻野 元子^{1,3)}、大場 千鶴¹⁾、野村 昇平¹⁾、吉川 聡介⁴⁾、
 島川 修一³⁾、東川 幸嗣⁵⁾、玉井 浩³⁾
 1)市立ひらかた病院小児科 2)田辺こどもクリニック小児神経内科 3)大阪医科大学小児科
 4)第一東和会病院小児科 5)青恵会病院小児科

05-2 60 か月以上の年齢を含めた熱性けいれん症例のてんかん発症について

Prevalence of epilepsy after febrile seizure including older child

- 荻野 元子^{1,2)}、柏木 充²⁾、田邊 卓也³⁾、大場 千鶴²⁾、野村 昇平²⁾、吉川 聡介⁴⁾、
 島川 修一¹⁾、東川 幸嗣⁵⁾、玉井 浩¹⁾
 1)大阪医科大学付属病院小児科 2)市立ひらかた病院小児科
 3)田辺こどもクリニック小児神経内科 4)第一東和会病院小児科 5)清恵会病院小児科

05-3 原因不明の West 症候群における ACTH 療法後の脳波所見と発作予後の関連

EEG findings after ACTH therapy predict seizure outcomes in West syndrome of unknown etiology

- 岡井 佑¹⁾、田中 雅大¹⁾、坂口 陽子¹⁾、伊藤 祐史¹⁾、山本 啓之¹⁾、大野 敦子¹⁾、
 中田 智彦¹⁾、城所 博之¹⁾、服部 文子²⁾、齋藤 伸治²⁾、倉橋 宏和³⁾、奥村 彰久³⁾、
 根来 民子¹⁾、渡邊 一功¹⁾、夏目 淳^{1,4)}
 1)名古屋大学大学院医学系研究科小児科学
 2)名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野 3)愛知医科大学病院小児科学講座
 4)名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座

05-4 潜因性 West 症候群における ACTH 療法の知的予後改善に対する効果は限定的である

Limited efficacy of ACTH therapy for improving the outcome of intellectual development in patients with cryptogenic West syndrome.

- 伊藤 智城^{1,2)}、河野 修¹⁾、生田目 紀子¹⁾、江川 潔¹⁾、朝比奈 直子¹⁾、香坂 忍¹⁾、
 白石 秀明¹⁾
 1)北海道大学病院小児科 2)市立札幌病院

05-5 小児良性てんかんに対する治療介入：投薬はどれくらい待つことができるか

Therapeutic intervention for benign epilepsy

- 沼本 真吾、奥村 彰久、倉橋 宏和
 愛知医科大学病院小児科

経過・予後 2 症例報告

座長：林 雅晴（淑徳大学看護栄養学部看護学科）

07-1 結節性硬化症の乳児期におけるてんかんの特徴

Characteristics of epilepsy associated with Tuberous Sclerosis Complex in infancy

- 土屋 弘樹¹⁾、遠藤 文香¹⁾、岡 牧郎¹⁾、花岡 義行¹⁾、柴田 敬¹⁾、林 裕美子¹⁾、
秋山 麻里¹⁾、秋山 倫之¹⁾、吉永 治美²⁾、小林 勝弘¹⁾

1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学（小児神経科）

2) 国立病院機構南岡山医療センター重症心身障害児（者）センター

07-2 けいれん重積型（二相性）急性脳症（AESD）後に epileptic spasm を発症した症例の検討

A study on patients presenting with epileptic spasms after AESD

- 兵頭 勇紀、秋山 麻里、花岡 義行、柴田 敬、岡 牧郎、秋山 倫之、小林 勝弘
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学（小児神経科）

07-3 熱性けいれんにおいて、鎮静性抗ヒスタミン薬はけいれん持続時間を本当に延長するのか？

Does sedative antihistamine prolong the seizure duration?

- 代田 惇朗^{1,3,4)}、辻本 信一¹⁾、横山 美奈¹⁾、林 邦好²⁾、草川 功¹⁾、萩原 正明¹⁾、
山中 岳¹⁾、河島 尚志¹⁾

1) 聖路加国際病院小児科 2) 聖路加国際大学公衆衛生大学院

3) 埼玉県立小児医療センター神経科 4) 東京医科大学小児科学分野

07-4 群発するけいれんに対し大量フェノバルビタール座薬で対処した PCDH19 てんかんの 2 例

Two cases of PCDH19 epilepsy whose cluster of seizures were controlled by high dose phenobarbital suppositories

- 大府 正治、比屋根 真彦、松岡 剛司

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科

07-5 Dravet 症候群の発作時 VTR-EEG

Ictal VTR-EEG in a case of Dravet syndrome

- 颯佐 かおり、阿部 裕一、藤野 美里、高柳 純、山内 秀雄

埼玉医科大学病院小児科

一般演題 口演 9

16:30~17:30

基礎疾患 1

座長：中川 栄二（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

09-1 キャリーオーバー後の若年性ミオクローヌステんかんの現状について

Outcome of juvenile myoclonic epilepsy after carryover

○落合 卓¹⁾、久保田 有一²⁾

1) おちあい脳クリニック 2) 朝霞台中央総合病院

09-2 在宅医療における 18 トリソミー児のてんかん

Epilepsy in children with trisomy 18 in home medical care.

○川村 健太郎^{1,2)}、山本 晃代²⁾、福村 忍²⁾、鈴木 大真¹⁾、土島 菜々¹⁾、木村 直子¹⁾、土島 智幸¹⁾、堤 裕幸²⁾

1) 医療法人稲生会生涯医療クリニックさっぽろ 2) 札幌医科大学小児科

09-3 てんかん発症のもやもや病における問題点

Problems in epileptic type moyamoya disease

○三上 毅、秋山 幸功、越智 さと子、江夏 怜、三國 信啓

札幌医科大学脳神経外科

09-4 良性乳児てんかんの薬剤反応性についての検討

Clinical study of patients with benign infantile seizure

○久保田 哲夫、白木 杏奈、橋原 翔、深沢 達也、根来 民子

安城更生病院小児科

09-5 希少てんかんのレジストリ登録による West 症候群の疫学調査

Epidemiological survey of West syndrome by Rare Epilepsy Syndrome Registry

○吉富 晋作¹⁾、井上 有史^{1,2)}、今井 克美^{1,2)}、高橋 幸利^{1,2)}

1) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター 2) 希少てんかん症候群研究グループ (JRESG)

第 6 会場 (Room J)

一般演題 口演 2

9 : 00~10 : 00

外科治療 1

座長：森野 道晴 (熊谷総合病院脳神経外科)

02-1 脳梁離断後に二期的に焦点切除術や離断術を行った症例の検討

Additional focus resection or disconnective surgery after corpus callosotomy

- 宇田 武弘^{1,2)}、國廣 誉世²⁾、松阪 康弘²⁾、川脇 壽³⁾、岡崎 伸³⁾、九鬼 一郎³⁾、
井上 岳司³⁾、温井 めぐみ³⁾、福岡 正隆³⁾、金 聖泰³⁾、佐久間 悟⁴⁾、瀬戸 俊之⁴⁾、
高 沙野²⁾、宇田 裕史^{1,5)}、大畑 建治¹⁾

- 1) 大阪市立大学大学院医学研究科脳神経外科 2) 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科
3) 大阪市立総合医療センター小児神経内科 4) 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学
5) 八尾徳洲会総合病院脳神経外科

02-2 難治性てんかんに対する脳梁離断術の長期発作転帰と家族満足度

Long term seizure outcome and parental satisfaction after corpus callosotomy in patients with epilepsy.

- 瀬山 剛^{1,2)}、飯田 幸治^{1,2)}、香川 幸太³⁾、片桐 匡弥^{1,2)}、石川 暢恒^{2,4)}、栗栖 薫¹⁾

- 1) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院脳神経外科学 2) 広島大学病院てんかんセンター
3) トロント小児病院小児科 4) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院統合健康科学部門小児科

02-3 てんかん性スパズムに対する脳梁離断術の発作予後の継時的変化

The chronological change of the efficacy of corpus callosotomy for epileptic spasm

- 宇田 裕史^{1,2)}、宇田 武弘^{1,3)}、國廣 誉世³⁾、松阪 康弘³⁾、川脇 壽⁴⁾、岡崎 伸⁴⁾、
九鬼 一郎⁴⁾、井上 岳司⁴⁾、温井 めぐみ⁴⁾、福岡 正隆⁴⁾、金 聖泰⁴⁾、佐久間 悟⁵⁾、
瀬戸 俊之⁵⁾、高 沙野³⁾、大畑 建治¹⁾

- 1) 大阪市立大学大学院医学研究科脳神経外科 2) 八尾徳洲会総合病院脳神経外科
3) 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科 4) 大阪市立総合医療センター小児神経内科
5) 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学

02-4 迷走神経刺激が前頭部皮質の脳血流に及ぼす効果

The effect of vagus nerve stimulation on the frontal cortex : the improvement of cerebral blood flow responsiveness in the task condition

- 嶋田 勢二郎¹⁾、小泉 友幸¹⁾、國井 尚人¹⁾、川合 謙介²⁾、齊藤 延人¹⁾

- 1) 東京大学医学部附属病院脳神経外科 2) 自治医科大学附属病院脳神経外科

02-5 迷走神経刺激装置植込み術後感染に対する rifampicin の有用性

Efficacy of rifampicin in post VNS surgery infection

- 峯 清一郎¹⁾、葛西 嘉亮²⁾

- 1) 千葉県循環器病センター脳神経外科 2) 千葉県立佐原病院皮膚科

一般演題 口演 4

10:00~11:00

外科治療 2

座長：押野 悟（大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学）

04-1 術中脳波にて very high frequency oscillations (VHFO) の解析を行った前頭葉てんかんの 3 手術例

Interictal VHFO can be recorded intraoperatively by the intracerebral electrode

- 近藤 聡彦、白井 直敬、寺田 清人、鳥取 孝安、新田 直樹、荒木 保清、中岡 健太郎、
松平 敬史、出淵 弦一、井上 有史

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

04-2 脳機能マッピングにおける afterdischarge 誘発の脳葉間の違いについての検討

The threshold and duration of afterdischarges in the electrical cortical stimulation

- 江夏 怜¹⁾、大川 聡史²⁾、菅野 彩¹⁾、越智 さと子¹⁾、三國 信啓¹⁾

1) 札幌医科大学医学部脳神経外科 2) 王子総合病院脳神経外科

04-3 脳機能マッピングにおける陽性/陰性反応と皮質電気刺激閾値

The stimulus threshold of positive and negative phenomena in the electrical cortical stimulation for functional brain mapping

- 菅野 彩¹⁾、大川 聡史²⁾、江夏 怜¹⁾、越智 さと子¹⁾、三國 信啓¹⁾

1) 札幌医科大学医学部脳神経外科学講座 2) 王子総合病院脳神経外科

04-4 術中言語白質モニタリングにおける皮質-皮質間誘発電位への麻酔の影響の検討

Anesthetic effect on cortico-cortical evoked potentials during intraoperative dorsal language pathway monitoring

- 山尾 幸広¹⁾、松本 理器²⁾、國枝 武治³⁾、荒川 芳輝¹⁾、中江 卓郎^{1,4)}、菊池 隆幸¹⁾、
吉田 和道¹⁾、池田 昭夫⁵⁾、宮本 享¹⁾

1) 京都大学脳神経外科 2) 京都大学神経内科 3) 愛媛大学脳神経外科 4) 滋賀成人病センター
5) 京都大学てんかん・運動異常生理学講座**04-5 後頭葉てんかんにおける視覚野の同定**

Identification of visual cortex in occipital lobe epilepsy

- 松尾 健

東京都立神経病院

脳波・脳磁図 1

座長：平田 雅之（大阪大学国際医工情報センター臨床神経医工学）

06-1 脳磁図を用いた高周波成分の検出について

Detecting high-frequency oscillation by clinical Magnetoencephalogram

○露口 尚弘^{1,2)}、宇田 武弘²⁾

1) 旭川医科大学脳神経外科 2) 大阪市立大学医学部脳神経外科

06-2 MEG による“spike onset zone”の検出とその意義

Magnetoencephalographic detection of “spike onset zone” and its clinical importance

○白水 洋史¹⁾、増田 浩¹⁾、伊藤 陽祐¹⁾、東島 威史¹⁾、橋詰 顕²⁾、柿田 明美³⁾、
福多 真史¹⁾、藤井 幸彦⁴⁾、大坪 宏⁵⁾

1) 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科 2) たかの橋中央病院脳神経外科
3) 新潟大学脳研究所病理学分野 4) 新潟大学脳研究所脳神経外科 5) トロント小児病院神経科

06-3 脳波による dipole 推定に開頭が与える影響

Effect of craniotomy on the dipole estimation by EEG

○金子 裕¹⁾、本田 涼子²⁾、池谷 直樹¹⁾、木村 唯子¹⁾、岩崎 真樹¹⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科 2) 長崎医療センター小児科

06-4 胚芽異形成性神経上皮腫瘍 (DNT) と神経節膠腫における脳磁図所見の観察

Evaluation of MEG findings in patients with dysembryoplastic neuroepithelial tumor and ganglioglioma.

○高山 裕太郎¹⁾、神 一敬¹⁾、柿坂 庸介¹⁾、菅野 彰剛^{1,2)}、岩崎 真樹⁴⁾、石田 誠¹⁾、
大沢 伸一郎³⁾、北澤 悠¹⁾、上利 大¹⁾、中里 信和^{1,2)}

1) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野
2) 東北大学大学院医学系研究科神経電磁気生理学寄附講座 3) 東北大学病院脳神経外科
4) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科

06-5 MEG が Non-lesional neocortical epilepsy の方針決定に寄与した症例

A case of non-lesional neocortical epilepsy provided advantageous information by magnetoencephalography (MEG)

○永井 靖誠¹⁾、菊池 隆幸¹⁾、小林 勝哉²⁾、松本 理器^{2,3)}、稲田 拓¹⁾、下竹 昭寛³⁾、
松橋 眞生^{4,5)}、松本 直樹¹⁾、小林 環¹⁾、高橋 由紀¹⁾、山尾 幸広¹⁾、吉田 和道¹⁾、
池田 昭夫³⁾、宮本 享¹⁾

1) 京都大学脳神経外科 2) 京都大学神経内科 3) 京都大学てんかん・運動異常生理学講座
4) 京都大学学際融合教育研究推進センター 5) 京都大学医学研究科附属脳機能総合研究センター

一般演題 口演 8

14:30~15:30

脳波・脳磁図 2

座長：藤井 正美（山口県立総合医療センター脳神経外科）

08-1 脳表電極を用いた嚥下関連 High γ 活動の解析

Swallowing related high gamma band activities revealed by human ECoG

- 橋本 洋章^{1,2)}、平田 雅之^{1,2)}、亀田 成司²⁾、柳澤 琢史^{1,2)}、押野 悟¹⁾、吉峰 俊樹²⁾、
貴島 晴彦¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科 2) 大阪大学国際医工情報センター臨床神経医工学

08-2 1000Hz を超える VHFO は硬化した海馬からも記録される

Very high frequency oscillations over 1000Hz can be recorded from sclerotic hippocampus.

- 臼井 直敬、近藤 聡彦、新田 直樹、寺田 清人、荒木 保清、鳥取 孝安、松平 敬史、
中岡 健太郎、出淵 弦一、井上 有史
静岡てんかん・神経医療センター

08-3 ヒト難治性てんかんの侵襲的脳波記録と睡眠ステージとの関連

Relationship between invasive EEG and sleep stage in medically intractable epileptic patients

- 堀 智勝¹⁾、祖母井 龍¹⁾、石田 敦士²⁾、松尾 成吾²⁾

1) 東京脳神経センター病院 2) 森山記念病院

08-4 睡眠時持続性棘徐波を示すてんかん性脳症（ECSWS）と非定型 BECTS における高周波振動の検討

Study of high frequency oscillations in the cases of epileptic encephalopathy with continuous spikes and waves during sleep and atypical BECTS.

- 池本 智¹⁾、浜野 晋一郎¹⁾、松浦 隆樹^{1,2)}、代田 惇朗¹⁾、久保田 淳^{1,2)}、樋渡 えりか¹⁾、
南谷 幹之^{1,2)}

1) 埼玉県立小児医療センター神経科 2) 東京慈恵会医科大学小児科学講座

08-5 改良型高密度脳波計の使用経験

Our experience in using advanced dense array electroencephalography

- 濱岡 敏基¹⁾、松田 綾子¹⁾、田谷 美恵子¹⁾、長綱 敏和²⁾、藤井 正美²⁾

1) 山口県立総合医療センター中央検査部 2) 山口県立総合医療センター脳神経外科

薬物治療 1

座長：吉良 龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）

O10-1 Lennox-Gastaut 症候群以外の難治てんかんに対する Rufinamide の効果の検討

Effect of Rufinamide to patients with intractable epilepsy besides Lennox-Gastaut syndrome.

- 石原 尚子、日尾野 宏美、石丸 聡一郎、三宅 未紗
藤田保健衛生大学医学部小児科

O10-2 難治性てんかん性スパズムに対するルフィナミドの使用経験

The efficacy and safety of rufinamide for intractable epileptic spasms.

- 小林 良行^{1,2)}、石川 暢恒^{1,2)}、谷 博雄^{1,2)}、小林 正夫¹⁾、藤井 裕士³⁾
1) 広島大学病院小児科 2) 広島大学病院てんかんセンター 3) 広島市立舟入市民病院小児科

O10-3 epileptic spasms に対して ACTH 療法が無効であった West 症候群の抗てんかん薬についての検討

Antiepileptic medications for patients with remaining epileptic spasms and relapse after ACTH therapy

- 大場 温子¹⁾、浜野 晋一郎²⁾
1) 東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科 2) 埼玉県立小児医療センター神経科

O10-4 West 症候群 NHO-Japan 342 ACTH cases study : ACTH 治療と効果の時代変遷

West syndrome NHO-Japan 342 ACTH cases study : Evolution of strategy & outcome of ACTH treatment

- 高橋 幸利¹⁾、遠山 潤²⁾、藤田 浩史³⁾、池田 ちづる⁴⁾、高橋 純哉⁵⁾、田中 茂樹⁶⁾、
長尾 雅悦⁷⁾、白神 浩史⁸⁾、金子 英雄⁹⁾、澤井 康子¹⁰⁾、太田 晶子¹⁾、井上 有史¹⁾
1) 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター 2) 国立病院機構西新潟中央病院
3) 国立病院機構青森病院 4) 国立病院機構熊本再春荘病院 5) 国立病院機構三重病院
6) 国立病院機構長崎医療センター 7) 国立病院機構北海道医療センター
8) 国立病院機構岡山医療センター 9) 国立病院機構長良医療センター
10) 国立病院機構奈良医療センター

O10-5 乳児スパズム初期治療後の抗てんかん薬内服は再発を防ぐことができるか

Can the antiepileptic drugs after ACTH therapy prevent the recurrence of infantile spasms?

- 倉橋 宏和¹⁾、沼本 真吾¹⁾、丸山 幸一²⁾、山田 桂太郎²⁾、倉橋 直子²⁾、牧 祐輝²⁾、
鈴木 健史²⁾、奥村 彰久¹⁾
1) 愛知医科大学医学部小児科 2) 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科

O10-6 ラモトリギン単剤へ変換する方法

How to converse the prescription of lamotrigine from multiple agents to single drug

○大府 正治、比屋根 真彦、松岡 剛司

沖縄県立南部医療センターこどもセンター小児神経科

第 7 会場 (Room K)**English Session 1**

9 : 00~10 : 00

画像 Neuroimaging

座長：夏目 淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）

E1-1 functional MRI を用いた言語可塑性関連領域及びネットワークの検討

Assessment of neuroplasticity and network of language using functional MRI

○三橋 匠¹⁾、菅野 秀宣¹⁾、中島 円¹⁾、肥後 拓磨¹⁾、飯村 康司¹⁾、鈴木 皓晴¹⁾、
新井 一¹⁾、浅野 恵子²⁾

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経外科 2) 順天堂大学外国語研究室

E1-2 Hub analysis using resting-state fMRI in patients with focal epilepsy and surgical outcomes○前澤 聡^{1,2)}、Bagarinao Epiphany¹⁾、中坪 大輔²⁾、加藤 祥子²⁾、石崎 友崇²⁾、柴田 昌志²⁾、
渡邊 宏久¹⁾、夏目 淳³⁾、祖父江 元¹⁾、若林 俊彦²⁾1) 名古屋大学脳とこころの研究センター 2) 名古屋大学医学系研究科脳神経外科
3) 名古屋大学医学系研究科小児科**E1-3 Increased resting state functional connectivity after stereotactic radiofrequency thermocoagulation in patients with hypothalamic hamartoma.**○十川 純平¹⁾、伊藤 陽祐²⁾、麻生 俊彦³⁾、松本 理器¹⁾、井内 盛遠⁴⁾、白水 洋史²⁾、
増田 浩²⁾、高橋 良輔¹⁾、福多 真史²⁾、池田 昭夫⁵⁾、亀山 茂樹^{2,6)}1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 2) 西新潟中央病院機能脳神経外科
3) 京都大学医学研究科附属脳機能総合研究センター 4) 京都市立病院神経内科
5) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学 6) 新潟リハビリテーション大学**E1-4 Chronological Change in Mesial Temporal Structures and Whole Brain Volumetry in Patients with Anti-voltage-gated Potassium Channel Complex Antibodies Associated Limbic Encephalitis**○本多 正幸¹⁾、松本 理器¹⁾、下竹 昭寛^{1,2)}、端 祐一郎¹⁾、坂本 光弘¹⁾、藤井 大樹^{1,3)}、
小林 勝哉¹⁾、葛谷 聡¹⁾、高橋 良輔¹⁾、池田 昭夫^{1,2)}1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学
2) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座 3) 倉敷中央病院神経内科第 6 会場
第 1 日第 7 会場
第 1 日

E1-5 The Correlations between Findings of Brain MRI and Neurological Outcomes in Tuberos Sclerosis Complex

○岡西 徹¹⁾、Ayataka Fujimoto²⁾、Mitsuyo Nishimura³⁾、Keiko Niimi⁴⁾、Rika Suzumura⁵⁾、Shimpei Baba¹⁾、Shinji Itamura¹⁾、Sotaro Kanai¹⁾、Kentaro Iijima²⁾、Keishiro Sato^{1,6)}、Hideo Enoki¹⁾

1) The Department of Child Neurology, Comprehensive Epilepsy Center, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan

2) The Department of Epilepsy and Surgery, Comprehensive Epilepsy Center, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan

3) The Department of Clinical Laboratory, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan

4) The Department of Rehabilitation, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan

5) The Department of Nutrition, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan

6) The Department of Neurology, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan

English Session 2

10 : 00~11 : 00

基礎疾患・症例報告 Underlying condition/disease・Case report

座長：齋藤 伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）

E2-1 Convulsive syncope induced by asystole secondary to sick sinus syndrome masquerading as epileptic seizures : 2 case reports and literatures review.

○廣瀬 源二郎、江口 周一郎、三秋 弥穂
浅ノ川総合病院脳神経センター・てんかんセンター

E2-2 脳梗塞に関連した症候性てんかんの検討、二次報告

A study of symptomatic epilepsy related to ischemic stroke. The second report.

○高瀬 敬一郎
飯塚病院神経内科

E2-3 Cognitive development after epilepsy surgery of the posterior cortex in patients with West syndrome

○Tomonori Ono^{1,2)}、Hiroshi Baba³⁾、Ryoko Honda^{1,4)}、Keisuke Toda^{1,2)}、Yoshiaki Watanabe^{1,4)}、Shiro Baba⁵⁾、Rika Koshimoto⁶⁾、Miwako Wada⁶⁾、Kaoru Ishida⁶⁾、Kohei Adachi⁷⁾

1) Epilepsy Center, National Nagasaki Medical Center

2) Department of Neurosurgery, National Nagasaki Medical Center 3) Nishi-Isahaya Hospital

4) Department of Pediatrics, National Nagasaki Medical Center

5) Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine

6) Clinical Psychology, National Nagasaki Medical Center

7) Department of Psychology, Faculty of Humanities, Nagasaki Junshin Catholic University

E2-4 Acute interstitial nephritis in epilepsy with chronic psychosis.

- 高松 直岐、谷口 豪、日野 亮真、中川 渉、和田 明、近藤 伸介、笠井 清登
Department of Neuropsychiatry, University of Tokyo, Tokyo, Japan

E2-5 A girl with refractory epilepsy who had occipito-cervical fusion surgery for os odontoideum

- Shohei Kusabiraki¹⁾、Eiji Nakagawa¹⁾、Ayano Matsui²⁾、Tetsuya Abe³⁾、Yoshihiko Saito¹⁾、Yukie Arahata¹⁾、Eri Takeshita¹⁾、Yuko Shimizu-Motohashi¹⁾、Akihiko Ishiyama¹⁾、Takashi Saito¹⁾、Hirofumi Komaki¹⁾、Kenji Sugai¹⁾、Masayuki Sasaki¹⁾

1) Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry (NCNP), Tokyo, Japan 2) Department of Orthopedics, NCNP, Tokyo, Japan

3) Department of Orthopaedic Surgery, University of Tsukuba, Ibaraki, Japan

English Session 3**13 : 30~14 : 30****基礎・遺伝 Basic・Genetics**

座長：竹内 義博（滋賀医科大学小児発達支援学講座）

E3-1 Biallelic loss-of-function mutations in UBA5 cause intractable West syndrome and profound failure-to-thrive.

- 代田 惇朗^{1,2)}、Shin-ichiro Hamano¹⁾、Satoru Ikemoto¹⁾、Ryuki Matsuura¹⁾、Mitsuko Nakashima^{3,5)}、Naomichi Matsumoto³⁾、Mitsuhiro Kato⁴⁾

1) Division of Neurology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan

2) Department of Pediatrics, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan

3) Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan

4) Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan

5) Department of Biochemistry, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan

E3-2 COL4A1 遺伝子変異は、てんかん外科の禁忌ではない

The patients with mutations in COL4A1 may not be absolute contraindication for epilepsy surgery

- 福與 なおみ^{1,2)}、岩崎 真樹³⁾、菊池 敦生²⁾、萩野谷 和裕²⁾、青木 洋子¹⁾、新堀 哲也¹⁾、呉 繁夫²⁾

1) 東北大学病院遺伝子診療部 2) 東北大学病院小児科 3) 国立精神神経・医療センター

E3-3 KCNT1-Mutated Infantile Epilepsy with Migrating Focal Seizures treated with Quinidine.

○Chihiro Takase¹⁾、Ayaka Hirahara²⁾、Naoki Ikegaya³⁾、Kana Yuki¹⁾、Kentarō Shirai¹⁾、Akimitsu Watanabe¹⁾、Tomohiro Watanabe¹⁾、Tsuyoshi Mizuguchi⁴⁾、Naomichi Matsumoto⁴⁾、Masaharu Hayashi⁵⁾、Masaki Iwasaki³⁾、Kenji Sugai²⁾

1) Department of Pediatrics, Tsuchiura Kyodo General Hospital

2) Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry

3) Department of Neurosurgery, National Center of Neurology and Psychiatry

4) Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine

5) College of Nursing and Nutrition, University of Shukutoku

E3-4 Long-term treatment of donepezil enhances neurogenesis after seizure-induced neuronal death

○Kang Dong-gook¹⁾、Suh Sang Won²⁾、Choi Hui Chul^{2,3)}、Lee Min Woo^{2,4)}、Song Hong Ki^{1,2)}、Jeong Jeong Hyun²⁾

1) Department of Neurology, Hallym University Medical Center, Kangdong SH Hospital

2) Institute of Epilepsy Research, Hallym University, Choonchun, Korea

3) Department of Neurology, Hallym University Medical Center, Choonchun SH Hospital

4) Department of Neurology, National Sorokdo Medical Center, Geonnam, Korea

E3-5 抗神経抗体陽性のでんかんと扁桃体腫大を伴うてんかんの免疫学的解析

Immunological state of epilepsy with anti-neuronal antibody and epilepsy with amygdala enlargement.

○端 祐一郎¹⁾、坂本 光弘¹⁾、十川 純平¹⁾、岡田 洋一郎²⁾、藤井 ちひろ³⁾、濱谷 美緒¹⁾、芦田 真士³⁾、越智 博文⁴⁾、中川 正法³⁾、水野 敏樹³⁾、下竹 昭寛^{3,5)}、松本 理器¹⁾、高橋 良輔¹⁾、池田 昭夫^{4,5)}、近藤 誉之²⁾

1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 2) 関西医科大学総合医療センター神経内科

3) 京都府立医科大学神経内科 4) 愛媛大学大学院医学系研究科老年・神経・総合診療内科学

5) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

English Session 4

14 : 30 ~ 15 : 06

薬物治療 Medication

座長 : Hong Ki Song (Department of Neurology, Hallym University, member of Japan Epilepsy Society, Chair, International Exchange Committee of Korean Epilepsy Society)

E4-1 皮質ミオクローヌスに対するペランパネルの有用性の検討 : ケーススタディー

Positive effect of perampanel on refractory cortical myoclonus. A case series.

○大井 和起¹⁾、Katsuya Kobayashi¹⁾、Takefumi Hitomi²⁾、Akihiro Shimotake^{1,3)}、Daiki Fujii⁴⁾、Riki Matsumoto¹⁾、Shuhei Kasama⁵⁾、Masutaro Kanda⁶⁾、Yoshiaki Wada⁷⁾、Ryosuke Takahashi¹⁾、Akio Ikeda^{1,3)}

1) Department of Neurology, Kyoto University Graduate School of Medicine.

2) Department of Laboratory Medicine, Kyoto University.

3) Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Kyoto University.

4) Department of Neurology, Kurashiki Central Hospital.

5) Department of Neurology, Hyogo College of Medicine.

6) Department of Neurology, Takeda General Hospital.

7) Department of Rehabilitation, Nissan Tamagawa Hospital.

E4-2 Adjunctive lacosamide treatment in the adult patients with focal epilepsy.

○豊田 知子、先成 祐介、小畑 雅子、岡田 和将、足立 弘明

The Department of Neurology, University of Occupational and Environmental Health School of Medicine, Kitakyushu, Japan.

E4-3 Therapeutic drug monitoring of lacosamide in Japanese adult patients with epilepsy

○Masako Kinoshita¹⁾、Ai Demura²⁾、Riki Matsumoto³⁾、Sachiyo Hashi⁴⁾、Akio Ikeda⁵⁾

1) Neurology, Utano National Hospital 2) Clinical Laboratory, Utano National Hospital

3) Department of Neurology, Graduate School of Medicine, Kyoto University

4) Clinical Pharmacology and Therapeutics, Kyoto University Hospital

5) Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Graduate School of Medicine, Kyoto University

JUHN AND MARY WADA 奨励賞受賞講演

15 : 06 ~ 15 : 30

座長 : 大槻 泰介 (てんかん専門病院ベーター)

English Session 5

16 : 30 ~ 17 : 30

外科治療 Surgery

座長：鎌田 恭輔（旭川医科大学脳神経外科）

E5-1 The examination of surgical procedures and seizure outcome in a case of temporal lobe epilepsy with amygdala enlargement

- 鈴木 皓晴、菅野 秀宣、中島 円、肥後 拓磨、飯村 康司、三橋 匠
順天堂大学てんかんセンター脳神経外科

E5-2 Surgical outcome of stereotactic radiofrequency thermocoagulation in 150 patients with hypothalamic hamartoma

- 白水 洋史^{1,2)}、Hiroshi Masuda^{1,2)}、Yosuke Ito²⁾、Takefumi Higashijima²⁾、Masafumi Fukuda²⁾、Shigeki Kameyama¹⁾
1) Hypothalamic Hamartoma Center, Nishi-Niigata Chuo National Hospital, Niigata, Japan
2) Department of Functional Neurosurgery, Nishi-Niigata Chuo National Hospital, Niigata, Japan

E5-3 左前頭葉離断+部分脳梁離断術後に出現した SMA 症候群が遷延した一例

Delayed recovery from postoperative supplementary motor area syndrome after left frontal disconnection with partial corpus callosotomy

- 井林 賢志、國井 尚人、石下 洋平、嶋田 勢二郎、斉藤 延人
Department of Neurosurgery, University of Tokyo

E5-4 Latent fast oscillations and phase synchronization in hypsarrhythmia can predict seizure outcome in children with infantile spasms after corpus callosotomy

- 馬場 史郎^{1,2)}、Vasily A. Vakorin^{3,4)}、Sam M. Doesburg^{3,4,5)}、Chizuko Nagamori²⁾、Midori Nakajima²⁾、Ayako Ochi²⁾、Ryoko Honda⁶⁾、Tomonori Ono⁷⁾、Keisuke Toda⁷⁾、Hiroshi Baba⁷⁾、Hiroshi Otsubo²⁾
1) Department of Neurosurgery, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan
2) Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada
3) Diagnostic Imaging, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada
4) Neuroscience & Mental Health Program, Hospital for Sick Children Research Institute, Toronto, Canada
5) Department of Medical Imaging, University of Toronto, Toronto, Canada
6) Department of Paediatrics, National Hospital Organization Nagasaki Medicine Center, Nagasaki, Japan
7) Department of Neurosurgery, National Hospital Organization Nagasaki Medicine Center, Nagasaki, Japan

E5-5 Total corpus callosotomy for refractory epilepsy after acute encephalopathy

- 九鬼 一郎¹⁾、Hisashi Kawawaki¹⁾、Shin Okazaki¹⁾、Masataka Fukuoka¹⁾、Kiyohiro Kim¹⁾、Megumi Nukui¹⁾、Takeshi Inoue¹⁾、Noritugu Kunihiro²⁾、Takehiro Uda^{2,3)}、Yasuhiro Matsusaka²⁾
- 1) The Department of Pediatric Neurology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan
 2) The Department of Pediatric Neurosurgery, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan
 3) The Department of Neurosurgery, Osaka City University, Osaka, Japan

Swan

一般演題 ポスター P1-1

15 : 35~16 : 15

症例報告 1

座長：鳥巢 浩幸（福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野）

P1-1-1 乳児期早期に焦点発作で発症し脳機能画像検査にて局所性異常を示した SCN1A 遺伝子新規変異例

Novel SCN1A mutation with focally abnormal neurofunctional imagings whose onset is focal seizure in early infancy

- 河野 修¹⁾、高橋 美智²⁾、生田目 紀子¹⁾、伊藤 智城³⁾、江川 潔¹⁾、朝比奈 直子¹⁾、香坂 忍¹⁾、白石 秀明¹⁾
- 1) 北海道大学医学部小児科 2) 釧路赤十字病院小児科 3) 市立札幌病院小児科

P1-1-2 難治性てんかんで発症した Galloway-Mowat 症候群と考えられる 1 例

A case of Galloway-Mowat syndrome presenting intractable epilepsy.

- 日衛嶋 郁子¹⁾、熊田 知浩¹⁾、柴田 実¹⁾、野崎 章仁¹⁾、林 安里¹⁾、森 未央子¹⁾、井上 賢治¹⁾、佐々木 彩恵子¹⁾、松井 潤²⁾、西倉 紀子²⁾、底田 辰之²⁾、藤井 達哉¹⁾
- 1) 滋賀県立小児保健医療センター小児科 2) 滋賀医科大学小児科

P1-1-3 DEND 症候群の 20 年間の長期経過

A long-term follow-up case of DEND syndrome during 20 years

- 澤浦 法子^{1,2)}、村松 一洋³⁾、長嶋 完二⁴⁾、大津 義晃¹⁾、緒方 朋実¹⁾、井田 久仁子¹⁾、鈴木 江里子¹⁾、小林 美帆¹⁾、荒川 浩一¹⁾、依藤 亨⁵⁾
- 1) 群馬大学大学院医学系研究科小児科 2) 高崎総合医療センター小児科
 3) 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科 4) ながしま小児科
 5) 大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科

第 7 会場
第 1 日Swan
ポスター
第 1 日

P1-1-4 退行によって診断に至った Infantile spasms single-spasm variant の一例

The case of infantile spasms single-spasm variant who presented with developmental deterioration

- 宮田 世羽²⁾、中村 由紀子³⁾、眞下 秀明¹⁾、西田 裕哉¹⁾、白井 育子¹⁾、熊田 聡子¹⁾、栗原 栄二¹⁾
 1) 東京都立神経病院神経小児科 2) 杏林大学医学部小児科
 3) 島田療育センターはちおうじ小児科

P1-1-5 診断に苦慮したピリドキシン依存性てんかんの 1 例

A case of Pyridoxine-dependent epilepsy with diagnostic difficulty.

- 佐久間 肇¹⁾、相場 佳織¹⁾、杉本 真理¹⁾、幸脇 正典¹⁾、小山 典久¹⁾、横地 健治²⁾
 1) 豊橋市民病院小児科 2) 聖隷三方原病院小児科

一般演題 ポスター P1-2

15 : 35 ~ 16 : 23

発作症状 1

座長：原 恵子（原クリニック）

P1-2-1 発作時咳払い、鼻拭いを認めた側頭葉てんかんの一例

A case of temporal lobe epilepsy with peri-ictal cough and postictal nose wiping

- 宮城島 孝昭¹⁾、飯島 圭哉¹⁾、平戸 政史¹⁾、好本 裕平¹⁾、高橋 章夫²⁾
 1) 群馬大学医学部脳神経外科 2) 渋川医療センター

P1-2-2 吃音様発声を伴う複雑部分発作を呈した側頭葉てんかんの一例

A case of temporal lobe epilepsy with complex partial seizure consist of utterance like stuttering

- 嘉手川 淳¹⁾、饒波 正博²⁾、太組 一郎³⁾
 1) 沖縄赤十字病院神経内科 2) 沖縄赤十字病院脳神経外科
 3) 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科

P1-2-3 高齢発症の側頭葉てんかん患者における臨床症状・脳波特徴

Electroclinical features of elderly onset temporal lobe epilepsy

- 松平 敬史、荒木 保清、近藤 聡彦、白井 直敬、池田 仁、寺田 清人、井上 有史
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター神経内科

P1-2-4 アルツハイマー病様の取り繕い言動がみられた一過性てんかん性健忘の 72 歳男性例

A case of transient epileptic amnesia patient with Alzheimer's disease-like pretending behavior.

- 永島 隆秀²⁾、平田 幸一¹⁾
 1) 獨協医科大学神経内科 2) 上都賀総合病院

P1-2-5 繰り返す一過性の健忘症を呈し、側頭葉てんかんと一過性全健忘との慎重な鑑別を要した 68 歳女性例

A 68 year-old woman with recurrent transient amnesia which required differential diagnosis between temporal lobe epilepsy and transient global amnesia.

- 荒川 晶、大塚 十里、小玉 聡、小野 稚奈、久保田 暁、林 俊宏、清水 潤、濱田 雅
 東京大学医学部附属病院神経内科

P1-2-6 視床下部過誤腫を認めず笑い発作を伴う複雑部分発作をきたす 1 例

A case presenting complex partial seizures with gelastic seizures without hypothalamic hamartoma

- 多田 恵曜、藤原 敏孝、中島 公平、里見 淳一郎、永廣 信治
 徳島大学脳神経外科

一般演題 ポスター P1-3

15 : 35~16 : 15

発作症状 2

座長：川脇 壽（大阪市立総合医療センター小児神経内科）

P1-3-1 てんかん性スパズムに対する脳梁離断術後の症候学的側方性

Asymmetric neck flexion and limb movements clarified after corpus callosotomy in children with epileptic spasms.

- 内田 大貴^{1,2)}、小野 智憲^{1,2)}、本田 涼子^{1,3)}、渡邊 嘉章^{1,3)}、戸田 啓介^{1,2)}、馬場 啓至⁴⁾
 1)長崎医療センターてんかんセンター 2)長崎医療センター脳神経外科
 3)長崎医療センター小児科 4)西諫早病院脳神経外科

P1-3-2 HHV6 脳炎後に食事誘発性の epileptic spasms を呈する一例

One case presenting epileptic spasms triggered by meals after HHV6 encephalopathy

- 舞鶴 賀奈子、吉田 健司、中田 昌利、横山 淳史
 京都大学医学部附属病院小児科

P1-3-3 尿失禁から診断した前頭葉てんかんの 1 例

A child case of frontal lobe epilepsy presenting with urinary incontinence as an initial manifestation

- 緒方 朋実¹⁾、村松 一洋^{1,2)}、澤浦 法子^{1,3)}、鈴木 江里子¹⁾、井田 久仁子¹⁾、小林 美帆¹⁾、荒川 浩一¹⁾
 1)群馬大学大学院医学系研究科小児科 2)自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科
 3)高崎総合医療センター小児科

P1-3-4 繰り返す奇異な膝立ち姿勢と発作後一過性徐波を認めた前頭葉てんかんの 1 例
A case of frontal lobe epilepsy with recurring strange kneeling posture and postictal slowing on EEG

○阿部 裕一、颯佐 かおり、山内 秀雄
埼玉医科大学小児科

P1-3-5 自己誘発行動をてんかん発作として加療されていた難治てんかんの一例
A patient with intractable epileptic seizures whose self-induced behaviors had been treated as ictal symptom

○北原 光、高橋 幸利、長瀬 朋子、森岡 景子、大松 泰生、小池 敬義、堀野 朝子、山口 解冬、吉富 晋作、美根 潤、大谷 英之、池田 浩子、今井 克美、重松 秀夫、井上 有史
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

一般演題 ポスター P1-4

15 : 35~16 : 31

基礎・実験てんかん 1

座長：石井 敦士（福岡大学医学部小児科学教室）

P1-4-1 電位依存性ナトリウムチャンネル Nav1.1 と相互作用するタンパクの探索
Screening of Nav1.1-interacting proteins in the mouse brain with immunoprecipitation followed by liquid chromatography-tandem mass spectrometry analysis.

○荻原 郁夫
日本医科大学医学部システム生理学

P1-4-2 結節性硬化症モデルマウスにおける幼若期 NMDA 投与による点頭様発作の解析
NMDA-induced seizure during infancy in the mouse model of tuberous sclerosis complex

○柏井 洋文^{1,2,3)}、笠井 慎也¹⁾、萩野 洋子¹⁾、佐藤 敦志^{1,2)}、古田島 浩子¹⁾、田中 美歩¹⁾、小林 敏之⁴⁾、樋野 興夫⁴⁾、岡 明²⁾、水口 雅³⁾、池田 和隆¹⁾
1) 東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト 2) 東京大学大学院医学系研究科小児科学
3) 東京大学大学院医学系研究科発達医科学 4) 順天堂大学大学院医学系研究科分子病理病態学

P1-4-3 覚醒・自由行動下でのマウス脳脊髄液持続回収系の開発とてんかん病態解析への応用
A novel method to collect cerebrospinal fluid in the free-moving mice for an epilepsy research.

○中嶋 恒男¹⁾、武田 朱公²⁾、大山 茜¹⁾、伊藤 祐規²⁾、柴木 宏実¹⁾、森下 竜一²⁾
1) 大阪大学大学院医学系研究科老年総合内科学
2) 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学

P1-4-4 キンドリングてんかん焦点形成に対する ATII 受容体拮抗薬 (Losartan) の抑制効果
The effect of angiotensin II-receptor antagonist Losartan in the rat amygdala kindling model

- 野崎 俊樹^{1,5)}、浦 裕之²⁾、太組 一郎³⁾、丸 栄一⁴⁾、小林 士郎⁴⁾、森田 明夫⁵⁾
1) 横浜新緑総合病院脳神経外科 2) 日本医科大学千葉北総病院薬剤部
3) 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科 4) 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科
5) 日本医科大学付属病院脳神経外科

P1-4-5 Kir4.1 チャネルの障害はアストロサイトの BDNF 産生を促進する
Dysfunction of Kir4.1 channels facilitates BDNF production in astrocytes

- Masato Kinboshi^{1,2,3)}、Takahiro Mukai¹⁾、Yuki Nagao¹⁾、Saki Shimizu¹⁾、Hidefumi Ito²⁾、Akio Ikeda³⁾、Yukihiro Ohno¹⁾
1) Laboratory of Pharmacology, Osaka University of Pharmaceutical Sciences, Osaka, Japan
2) Department of Neurology, Wakayama Medical University, Wakayama, Japan
3) Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

P1-4-6 Changes in expression of astrocytic Kir4.1 channels in pilocarpine (PILO) -induced temporal lobe epilepsy (TLE) model rats

- Higor Alves Iha¹⁾、Takahiro Mukai¹⁾、Yuki Nagao¹⁾、Kazuaki Sato^{1,3)}、Masato Kinboshi^{1,2,3)}、Hidefumi Ito²⁾、Akio Ikeda³⁾、Saki Shimizu¹⁾、Tadao Serikawa¹⁾、Yukihiro Ohno¹⁾
1) Laboratory of Pharmacology, Osaka University Pharmaceutical Sciences.
2) Department of Neurology, Wakayama Medical University
3) Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Kyoto University.

P1-4-7 NER における全般性強直間代けいれん発作に関与する遺伝子の同定
Identification of candidate genes for generalized tonic-clonic seizures in NER

- 芹川 忠夫^{1,2)}、フォークト ビルガー³⁾、中西 聡³⁾、北田 一博⁴⁾、中村 正^{5,6)}、若松 馨⁵⁾、上村 里彩⁷⁾、田中 美有^{3,7)}、桑村 充⁷⁾、清水 佐紀²⁾、笹 征史^{1,8)}、大野 行弘²⁾、庫本 高志³⁾
1) 京都疾患モデル研究所 2) 大阪薬科大学 3) 京都大学 4) 北海道大学 5) 群馬大学
6) アピ (株) 7) 大阪府立大学 8) 渚クリニック

遺伝

座長：福田 光成（愛媛県立新居浜病院）

P1-5-1 PNKP 遺伝子に複合ヘテロ接合変異を認めた難治性てんかンを伴う小頭症の一例

A patient with microcephaly and intractable epilepsy with compound heterozygous variants in PNKP

○緒方 怜奈¹⁾、安永 由紀恵¹⁾、渡辺 恭子¹⁾、宮 冬樹²⁾、加藤 光広³⁾

1) 国立病院機構小倉医療センター 2) 東京医科歯科大学難治疾患研究所医科学数理分野

3) 昭和大学医学部小児科学講座

P1-5-2 Epileptic course of a female with WDR45 mutation complicated by infantile spasms.

○森川 愛美¹⁾、高野 亨子²⁾、那須野 将¹⁾、柳沢 俊光¹⁾、本林 光雄³⁾、柴 直子¹⁾、
稲葉 雄二¹⁾

1) Department of Pediatrics, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan

2) Department of Medical Genetics, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan

3) Division of Neonatology, Department of Pediatrics, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan

P1-5-3 SCN1A 遺伝子解析により診断確定した Dravet 症候群の一卵性双胎例

A case of identical twins with Dravet syndrome confirmed by SCN1A gene analysis

○佐々木 宏太¹⁾、熊倉 啓¹⁾、石井 敦士²⁾、秦 大資¹⁾

1) 田附興風会医学研究所北野病院小児科 2) 福岡大学医学部小児科

P1-5-4 早期ミオクロニー脳症の臨床像を呈した CDKL5 遺伝子異常の一例

A case of CDKL5 gene abnormality that exhibited clinical features of early myoclonic encephalopathy

○竹田 加奈子¹⁾、宮本 雄策^{1,2)}、今泉 太一²⁾、山本 寿子^{1,2)}、足立 美穂²⁾、石井 敦士³⁾、
廣瀬 伸一³⁾、山本 仁²⁾

1) 川崎市立多摩病院小児科 2) 聖マリアンナ医科大学小児科学教室

3) 福岡大学医学部小児科学教室

P1-5-5 脳梁離断に至った SCN8A 変異による早期発症てんかん性脳症

Early onset epileptic encephalopathy performed callosotomy caused by SCN8A mutation

○村松 一洋^{1,2)}、澤浦 法子²⁾、牧岡 西紀²⁾、緒方 朋実²⁾、鈴木 江里子²⁾、岩脇 史郎²⁾、
荒川 浩一²⁾、堀 尚明³⁾、石井 敦士⁴⁾、廣瀬 伸一⁴⁾、米衛 ちひろ⁵⁾、住友 典子⁵⁾、
齋藤 貴志⁵⁾

1) 自治医科大学小児科 2) 群馬大学附属病院小児科 3) 太田記念病院小児科 4) 福岡大学小児科

5) 国立精神神経医療研究センター病院小児神経科

P1-5-6 高用量キニジンにより心室頻拍を呈した KCNT1 遺伝子変異を有する EIMFS の一例
A case of EIMFS with KCNT1 mutation developing ventricular tachycardia induced by high dose of quinidine

- 吉富 晋作¹⁾、堀野 朝子¹⁾、大松 泰生¹⁾、小池 敬義¹⁾、山口 解冬¹⁾、大谷 英之¹⁾、池田 浩子¹⁾、重松 秀夫¹⁾、今井 克美¹⁾、高橋 幸利¹⁾、井上 有史¹⁾、岡西 徹²⁾、中島 光子^{3,4)}、松本 直通³⁾、芳本 潤⁵⁾

- 1) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科
2) 聖隷浜松病院てんかんセンター・小児神経科 3) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学
4) 浜松医科大学医学部医化学講座 5) 静岡県立こども病院循環器科

一般演題 ポスター P1-6

15 : 35 ~ 16 : 23

脳波・脳磁図 1

座長：露口 尚弘（近畿大学脳神経外科）

P1-6-1 精神症状の治療経過中に非けいれん性てんかん重積状態を呈した 2 症例

Two case reports of psychiatric patients with nonconvulsive status epilepticus

- 中川 牧子^{1,2)}、新井 めぐみ¹⁾、許 博陽¹⁾、高石 政男¹⁾、辻村 理司¹⁾、玉澤 彰英¹⁾、白石 洋子¹⁾、堀 岳人¹⁾、天貝 徹¹⁾、佐倉 義久¹⁾、山口 隆之¹⁾、久保田 真司¹⁾、古荘 竜¹⁾、梶原 智¹⁾、平安 良雄¹⁾

- 1) 横浜市立大学精神医学教室 2) 横浜市立大学附属市民総合医療センター

P1-6-2 脳表電極留置の際の fMRI の有用性

Utility of fMRI in placement of brain surface electrodes

- 広島 覚、福山 秀青、野呂 昇平、小川 博司、露口 尚弘、鎌田 恭輔
旭川医科大学脳神経外科

P1-6-3 内側側頭葉てんかんのセボフルラン麻酔下術中皮質脳波における red spike の検討

Analysis of red spikes and sevoflurane levels on electrocorticography in patients with mesial temporal lobe epilepsy.

- 折原 あすみ^{1,2)}、稲次 基希²⁾、橋本 聡華²⁾、赤座 実穂³⁾、原 恵子^{3,4)}、前原 健寿²⁾

- 1) 土浦協同病院脳神経外科 2) 東京医科歯科大学脳神経外科
3) 東京医科歯科大学生命情報解析学 4) 原クリニック

P1-6-4 Source localization of seizure focus by wide-band stereoelectroencephalography

- Tomohiko Murai¹⁾、Masao Matsuhashi^{2,3)}、Takefumi Hitomi⁴⁾、Masaya Togo¹⁾、Katsuya Kobayashi¹⁾、Akihiro Shimotake⁷⁾、Morito Inouchi⁵⁾、Takayuki Kikuchi⁶⁾、Kazumichi Yoshida⁶⁾、Takeharu Kunieda⁸⁾、Riki Matsumoto¹⁾、Ryosuke Takahashi¹⁾、Akio Ikeda⁷⁾
- 1) The Department of Neurology, Kyoto University
 - 2) Research and Educational Unit of Leaders for Integrated Medical System, Kyoto University
 - 3) Human Brain Research Center, Kyoto University Graduate School of Medicine
 - 4) Department of Clinical Laboratory Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine
 - 5) Department of Respiratory Care and Sleep Control Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine
 - 6) Department of Neurosurgery, Kyoto University Graduate School of Medicine
 - 7) Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Kyoto University Graduate School of Medicine
 - 8) Department of Neurosurgery, Ehime University

P1-6-5 睡眠段階に着目したてんかん患者の心拍変動解析

Heart rate variability analysis of patients with epilepsy focusing on sleep stages

- 坂本 美佳、神 一敬、北澤 悠、柿坂 庸介、中里 信和
東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

P1-6-6 発作間欠時てんかん性脳波異常のみられないてんかん患者の臨床的特徴

Clinical features of patients with epilepsy without interictal epileptiform discharges on EEG

- 鈴木 美野理¹⁾、神 一敬¹⁾、北澤 悠¹⁾、柿坂 庸介¹⁾、菅野 彰剛²⁾、中里 信和^{1,2)}
- 1) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野
 - 2) 東北大学大学院医学系研究科神経電磁気生理学寄附講座

一般演題 ポスター P1-7

15 : 35 ~ 16 : 23

脳波・脳磁図 2

座長：久保田 雅也（国立成育医療研究センター神経内科）

P1-7-1 散布図を用いた hypsarrhythmia の電位差解析

Electric potential difference analysis of hypsarrhythmia using the scattergram

- 横田 進¹⁾、樋渡 えりか²⁾、浜野 晋一郎²⁾
- 1) 埼玉県立小児医療センター検査技術部
 - 2) 埼玉県立小児医療センター神経科

P1-7-2 症候性焦点性てんかんにおける脳磁図の有用性の検討

Utility of MEG in patients with symptomatic focal epilepsy

○岩谷 祥子^{1,2,3)}、下野 九理子^{1,2,3)}、林 良子^{1,3)}、廣恒 実加^{1,3)}、谷河 純平^{1,3)}、富永 康仁^{1,2,3)}、青天目 信^{1,3)}、大藪 恵一^{1,3)}1) 大阪大学大学院医学系研究科小児科 2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究所
3) 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター**P1-7-3 Advanced dSPM for focal cortical dysplasia at bottom of sulcus (FCDB)**

○Midori Nakajima、Hiroshi Otsubo

Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, ON, Canada

P1-7-4 脳腫瘍により症候性 West 症候群を呈し、脳磁図で焦点が推定された一例

MEG findings of a patient with West syndrome resulting from brain tumor

○山本 啓之¹⁾、寶珠山 稔²⁾、三宅 未紗³⁾、石丸 聡一郎⁴⁾、石原 尚子³⁾、前澤 聡^{2,5)}、田中 雅大¹⁾、岡井 佑¹⁾、坂口 陽子¹⁾、大野 敦子¹⁾、中田 智彦¹⁾、城所 博之¹⁾、夏目 淳^{1,6)}1) 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 2) 名古屋大学脳とこころの研究センター
3) 藤田保健衛生大学小児科 4) 豊川市民病院小児科
5) 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科
6) 名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座**P1-7-5 急性辺縁系脳炎を来した女児例の脳波所見—徐波の解釈—**

Electroencephalographic findings in a girl with acute limbic encephalitis—The interpretation of slow wave—

○中森 いづみ¹⁾、木村 暢佑¹⁾、林 貴大¹⁾、樋口 嘉久¹⁾、高橋 幸利²⁾

1) 大津赤十字病院小児科 2) 静岡てんかん・神経医療センター

P1-7-6 PB 大量療法が有効であった Mowat-Wilson 症候群の一例

Successful High-dose Phenobarbital Therapy for Epilepsy in Mowat-Wilson Syndrome : A case report

○藤井 朋洋、桐野 友子、藤原 由美、永井 盛博

国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター小児神経内科

画像 1

座長：井本 浩哉（山口大学脳神経外科）

P1-8-1 Morphological and microstructural features in cryptogenic late-onset temporal lobe epilepsy : A structure and diffusion MRI study.

○曾根 大地²⁾、佐藤 典子³⁾、渡辺 裕貴²⁾、岡崎 光俊²⁾、松田 博史¹⁾

1) Integrative Brain Imaging Center, National Center of Neurology and Psychiatry

2) Department of Psychiatry, National Center of Neurology and Psychiatry

3) Department of Radiology, National Center of Neurology and Psychiatry

P1-8-2 成人の症候性てんかんにおける発作周辺期 MRI 脳灌流画像の有用性

Peri-ictal use of arterial spin labeling perfusion images in adult symptomatic focal epilepsy

○高橋 章夫¹⁾、合田 司¹⁾、小山 佳成²⁾、守屋 真吾²⁾、内橋 慶隆³⁾、石北 直之⁴⁾、

清水 信三⁴⁾、宮城島 孝昭⁵⁾、伊部 洋子⁶⁾

1) 渋川医療センター脳神経外科 2) 渋川医療センター放射線診断科

3) 渋川医療センター救急診療部 4) 渋川医療センター小児科 5) 群馬大学医学部脳神経外科

6) 群馬大学医学部リハビリテーション科

P1-8-3 Realtime fMRI と機械学習を用いた言語優位半球の同定

Identification of the language hemisphere using Realtime fMRI supported with machine learning.

○福山 秀青¹⁾、広島 覚¹⁾、竹内 文也²⁾、鎌田 恭輔¹⁾

1) 旭川医科大学病院脳神経外科講座 2) 旭川医科大学教育・研究推進センター

P1-8-4 脳卒中後てんかんにおける subtraction SPECT の有用性

Localizing and diagnostic value of subtraction SPECT in post-stroke seizure

○福間 一樹¹⁾、梶本 勝文¹⁾、田中 智貴¹⁾、山上 宏³⁾、豊田 一則⁴⁾、猪原 匡史¹⁾

1) 国立循環器病研究センター脳神経内科 2) 広南病院脳血管内科

3) 国立循環器病研究センター脳卒中集中治療科 4) 国立循環器病研究センター脳血管内科

P1-8-5 楔前部海馬機能的結合と側頭葉てんかんの言語性記憶機能の解析

Functional connectivity analysis of verbal memory impairment in patients with right mesial temporal lobe epilepsy

○谷 直樹、押野 悟、細見 晃一、柳澤 琢史、田中 將貴、貴島 晴彦

大阪大学医学部脳神経外科

画像 2

座長：渡邊 嘉章（長崎医療センター小児科）

P1-9-1 非けいれん性てんかん重積診断における Arterial Spin Labeling 法の有用性

Diagnosis of nonconvulsive status epilepticus by arterial spin labeling.

- 藤原 敏孝²⁾、多田 恵曜^{1,2)}、中島 公平^{1,2)}、牟礼 英生¹⁾、原田 雅史³⁾、里見 淳一郎¹⁾、永廣 信治¹⁾

1) 徳島大学脳神経外科 2) 徳島大学病院てんかんセンター 3) 徳島大学放射線科

P1-9-2 てんかん患者における arterial spin labeled perfusion (ASL) 所見の検討

Analysis of arterial spin labeled perfusion MRI in epilepsy patients.

- 里 龍晴、橋本 和彦、森山 薫、西口 奈菜子、原口 康平

長崎大学病院小児科

P1-9-3 Magnetic Resonance Spectroscopy (MRS) を用いた小児けいれん性疾患における脳内代謝物質の検討

Evaluation of brain metabolite concentrations using magnetic resonance spectroscopy (MRS) in pediatric patients with seizures

- 高橋 揚子¹⁾、湯浅 正太¹⁾、戸田 壮一郎¹⁾、高梨 潤一²⁾

1) 亀田メディカルセンター小児科 2) 東京女子医科大学八千代医療センター小児科

P1-9-4 偶然発見されたてんかん合併のない限局性皮質異形成

Focal cortical dysplasia without epilepsy in children.

- 中川 裕康¹⁾、川村 哲朗²⁾、大西 寛明²⁾、廣瀬 源二郎²⁾、黒田 文人³⁾

1) 浅ノ川総合病院小児科 2) 浅ノ川総合病院てんかんセンター 3) 金沢大学小児科

P1-9-5 視床下部過誤腫の発作起始部位～SISCOM による解析

Seizure onset area in hypothalamic hamartomas by SISCOM analysis

- 増田 浩、白水 洋史、伊藤 陽祐、東島 威史、福多 真史、亀山 茂樹

国立病院機構西新潟中央病院視床下部過誤腫センター

社会面・QOL1

座長：田所 ゆかり（愛知医科大学病院精神神経科）

P1-10-1 自動車運転中のてんかん発作による交通事故リスクの新たな評価法の試み

Novel evaluation of risk of automobile accident caused by epileptic seizure while driving

○伴 知見¹⁾、川合 謙介²⁾、南部 恭二郎³⁾、正宗 賢^{1,3)}、伊関 洋^{1,4)}、笠貫 宏^{1,4)}

1) 東京女子医科大学・早稲田大学共同大学院 2) 自治医科大学脳神経外科

3) 東京女子医科大学先端生命医科学研究所 4) 早稲田大学医療レギュラトリーサイエンス研究所

P1-10-2 自動車運転適性ありと診断したてんかん患者の発作予後に関する検討

Outcome for epilepsy patients allowed to drive a motor vehicle

○長谷川 直哉¹⁾、眞柄 慎一²⁾

1) 西新潟中央病院てんかんセンターてんかん科 2) 西新潟中央病院てんかんセンター小児神経科

P1-10-3 救急現場におけるてんかん患者の現状

Current status of epileptic patients in emergency situation

○佐藤 正夫¹⁾、真田 隆広¹⁾、元持 雅男¹⁾、松田 知倫²⁾、増井 伸高²⁾

1) 札幌東徳洲会病院脳神経外科 2) 札幌東徳洲会病院救急科

P1-10-4 地域の精神科多機能垂直型施設において就労を支援した PNES (心因性非てんかん性発作) 患者の一例

A PNES mentally retarded patient case report, in relation to an adult treated in a multi-functional medical corporation, with the treatment leading to employment

○岸本 百合、原 ますみ、笹川 佑記、福智 寿彦

すずかけクリニック

P1-10-5 てんかん女性の Conception、Pregnancy and Birth

Women with epilepsy : Pregnancy and Birth

○前澤 眞理子¹⁾、福岡 佳代¹⁾、末岡 瑠美子¹⁾、堂本 洋一²⁾、玉田 耕一²⁾、園田 さとみ²⁾、山本 哲郎²⁾、西村 甲³⁾、羽根 靖之⁴⁾

1) 鶴見大学短期大学部歯科衛生科 2) 伊勢慶友病院 3) 鈴鹿医療大学 4) 羽根小児科

P1-10-6 第 43 回日本てんかん協会全国大会の参加者が持つてんかんへのイメージ アンケート結果より

The Report of Survey to the participants of the 43rd national conference at Japan Epilepsy Association

○辻 富基美¹⁾、土橋 登世子²⁾、上野 明貞²⁾、森 啓子²⁾、篠崎 和弘^{2,3,4)}

1) 紀南こころの医療センター

2) 公益社団法人日本てんかん協会第 43 回全国大会和歌山大会実行委員会

3) 和歌山県立医科大学神経精神医学教室 4) 公益財団法人浅香山病院臨床研究研修センター

一般演題 ポスター P1-11

15 : 35 ~ 16 : 23

社会面・QOL2

座長：山下 純正（神奈川県立こども医療センター）

P1-11-1 一般市民を対象としたてんかんに対する意識調査—2013 年と 2017 年の比較—

The awareness questionnaire investigation toward epilepsy of the general public in Japan—Comparing the results between 2013 and 2017—

- 永森 千寿子
- ¹⁾
- 、原 恵子
- ^{1,2)}
- 、赤座 実穂
- ¹⁾
- 、太田 克也
- ³⁾
- 、前原 健寿
- ^{1,4)}
- 、稲次 基希
- ⁴⁾
- 、角 勇樹
- ¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科生命機能情報解析学分野 2) 原クリニック
3) 恩田第二病院 4) 東京医科歯科大学医学部附属病院脳神経外科

P1-11-2 2017 年における一般市民によるてんかん患者の社会参加に対する評価

Evaluation for social ability of PWE by the general public in Japan in 2017

- 吉村 優里
- ¹⁾
- 、原 恵子
- ^{2,3)}
- 、赤座 実穂
- ²⁾
- 、永森 千寿子
- ²⁾
- 、稲次 基希
- ¹⁾
- 、太田 克也
- ⁴⁾
- 、角 勇樹
- ²⁾
- 、前原 健寿
- ¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経機能外科学分野
2) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科生命機能情報解析学分野 3) 原クリニック
4) 恩田第 2 病院

P1-11-3 てんかんを持つ子どもが通う学校・施設関係者の対応の現状と不安—てんかん講習会参加者への質問紙調査—

What are problems of children with epilepsy in school from educator's view?

- 西村 美奈
- ¹⁾
- 、滝口 美和子
- ¹⁾
- 、近藤 美和子
- ¹⁾
- 、浜野 晋一郎
- ²⁾

1) 埼玉県立小児医療センター外来 2) 埼玉県立小児医療センター神経科

P1-11-4 長期間診断に至らず、心理社会的障害をきたした前頭葉てんかんの 9 歳男児例

A 9 years old boy case of frontal lobe epilepsy with psychosocial disturbance due to long-term undiagnosis

- 植松 有里佳
- ¹⁾
- 、藤川 真由
- ²⁾
- 、大久保 幸宗
- ¹⁾
- 、阿部 裕
- ¹⁾
- 、木村 正人
- ¹⁾
- 、呉 繁夫
- ¹⁾
- 、植松 貢
- ¹⁾

1) 東北大学病院小児科 2) 東北大学病院てんかん科

P1-11-5 點頭てんかンを発症した脳性麻痺児の QOL に及ぼす ACTH 療法の長期的な効果に関する検討

A study on long-term effect of ACTH therapy on the quality of life in children with cerebral palsy presenting with infantile spasms.

- 若本 裕之、河邊 美香、矢野 喜昭
-
- 愛媛県立子ども療育センター小児神経科

P1-11-6 地方のいま—佐賀県北部におけるてんかん診療の現状と問題点—

The present of locality : The state and problem for epilepsy care on north of Saga

○田島 大輔、笹月 桃子、辻 功介

唐津赤十字病院小児科

Room E**一般演題 ポスター P1-12****15 : 35~16 : 23****病因・基礎疾患 1**

座長 : 二宮 宏智 (市立伊丹病院脳神経外科)

P1-12-1 Clinical analysis of seizures after ischemic stroke

○Jinsung Cheong

Department of Neurology, Wonkwang University, Iksan, South Korea

P1-12-2 認知症認定教育施設における、認知症に合併したてんかんの特徴

Characteristic of the epilepsy accompanied by dementia

○當間 圭一郎、西中 和人、田村 暁子、関谷 智子、浜田 雄一、小川 慈、六車 彩子、

岡田 信久、宇高 不可思

住友病院神経内科

P1-12-3 演題取り下げ**P1-12-4 頭蓋内疾患に合併する急性症候性発作の検討**

Acute symptomatic seizure associated with intracranial disease

○大友 智、荒井 啓晶、ジャ ウェンティン、竹内 洋平

みやぎ県南中核病院脳神経外科

P1-12-5 成人発症の原因不明のてんかんは、アルツハイマー型認知症になりやすいか？

Is Adult Onset Epilepsy of unknown cause a predictor of Alzheimer Disease?

○川上 治¹⁾、古池 保雄²⁾、安藤 哲朗¹⁾、杉浦 真¹⁾、加藤 博子¹⁾、横井 克典¹⁾、平賀 経太¹⁾、鬼頭 大志¹⁾、近藤 初¹⁾

1)安城更生病院神経内科 2)中部大学生命健康科学部

P1-12-6 高次脳機能障害を呈した非けいれん性てんかん重積の 2 例

2 cases of nonconvulsive status epilepticus with higher brain dysfunction

○中野 美佐¹⁾、岸野 義信¹⁾、酒井 俊宏²⁾、原 齊¹⁾

1)市立吹田市民病院 2)国立長寿医療研究センター

一般演題 ポスター P1-13

15 : 35 ~ 16 : 23

薬物治療 1

座長：渡邊 さつき (埼玉医科大学神経精神科)

P1-13-1 Perampanel の効果および使用実態に関する評価と検討

The retrospective assessment of perampanel in patients with refractory epilepsy at our hospital

○関口 和哉、菅野 秀宣、三橋 匠、鈴木 皓晴、飯村 康司、肥後 拓磨、中島 円、新井 一

順天堂大学医学部脳神経外科

P1-13-2 ペランパネル併用療法 82 例の使用経験

Add-on therapy of Perampanel for 82 cases of epilepsy

○池田 雅子¹⁾、渡辺 雅子²⁾、渡辺 裕貴³⁾

1) 東京慈恵会医科大学附属病院 2) 新宿神経クリニック 3) 国立精神・神経医療研究センター

P1-13-3 ペランパネル治療に対するカルバマゼピン併用の影響

Clinical effects of carbamazepine for perampanel

○岩城 弘隆²⁾、神 一敬²⁾、立川 和裕¹⁾、藤川 真由²⁾、柿坂 庸介²⁾、中里 信和²⁾、兼子 直¹⁾

1) 医療法人清照会湊病院北東北てんかんセンター

2) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

P1-13-4 ペランパネルとその代謝を促進する薬 (カルバマゼピン、フェニトイン) との併用による影響について

Activation of metabolism of Perampanel Hydrate by combination with Carbamazepine and/or Phenytoin.

○小野寺 憲治¹⁾、武者 利樹¹⁾、海野 美千代²⁾、小島 奈穂美²⁾、石川 真弓²⁾、大槻 泰介³⁾、曾我 孝志³⁾

1) てんかん病院ベテラ薬剤科 2) てんかん病院ベテラ看護科 3) てんかん病院ベテラ

P1-13-5 てんかん外科手術後の残存発作に対するペランパネルの有効性の検討

Consideration efficacy of Perampanel for residual seizure after epilepsy surgery.

○松田 浩幸¹⁾、上田 徹²⁾、藤木 稔¹⁾

1) 大分大学医学部脳神経外科 2) 大分大学福祉健康科学部

P1-13-6 低酸素脳症後のミオクローヌス (Lance-Adams 症候群) に対する PER の効果

Effectiveness of Perampanel for a patient with posthypoxic myoclonus (Lance-Adams syndrome).

○清水 一秀、大仲 佳祐、徳永 英恵、稲次 基希、前原 健寿

東京医科歯科大学脳神経外科

薬物治療 2

座長：山本 忍 (やまもとクリニック)

P1-14-1 ペランパネル追加が有効であった進行性ミオクローヌステんかん型歯状核赤核・淡蒼球ルイ体萎縮症の一例

Successful add-on treatment with perampanel for progressive myoclonic epilepsy form of dentatorubral-pallidoluysian atrophy (DRPLA)

- 林田 有紗、王子 悠、金井 数明、谷口 大祐、波田野 琢、須田 晃充、服部 信孝
順天堂大学医学部脳神経内科

P1-14-2 ペランパネルによって夜間てんかん発作および睡眠構造に改善がみられた難治性局在関連てんかんの 1 例

Improvement of nocturnal epileptic seizures and sleep architecture by Perampanel for intractable localization-related epilepsy : a case report

- 安田 麻美、黒須 結唯、堤 朱香、中尾 由美子、吉澤 門土、吉原 慎佑、高崎 英気、田村 義之、千葉 茂
旭川医科大学精神医学講座

P1-14-3 難治性てんかんに対するペランパネル、ラコサミドの使用経験

Clinical experience of perampanel and lacosamide therapy

- 増本 政也²⁾、安元 眞吾¹⁾、本岡 大道¹⁾、伊東 裕二¹⁾、内村 直尚¹⁾
1) 久留米大学医学部神経精神学講座 2) 松岡病院

P1-14-4 当院における Lacosamide の使用経験

Clinical experience with lacosamide in patients with epilepsy at our hospital.

- 進村 光規、重藤 寛史、赤松 直樹
福岡山王病院

P1-14-5 難治性部分てんかんにおけるラコサミドの使用経験

Efficacy and safety of lacosamide for intractable focal epilepsy

- 池田 ちづる、檜木 仁、岡田 拓巳、島津 智之、上野 弘恵、今村 穂積
国立病院機構熊本再春荘病院

P1-14-6 心臓移植後の難治性てんかんに新規抗てんかん薬の併用が有効であった一例

Refractory seizures after heart transplantation responding to novel antiepileptic drug combination therapy : a case report

- 阿部 宗一郎¹⁾、田中 智貴¹⁾、岡崎 周平¹⁾、福嶋 直弥¹⁾、斎藤 こずえ¹⁾、川越 康仁²⁾、中村 隼人²⁾、築瀬 正伸²⁾、福嶋 教偉²⁾、長束 一行¹⁾、豊田 一則³⁾、猪原 匡史¹⁾
1) 国立循環器病研究センター脳神経内科 2) 国立循環器病研究センター移植部
3) 国立循環器病研究センター脳血管内科

一般演題 ポスター P1-15

15:35~16:23

薬物治療 3

座長：林 北見（東京女子医科大学八千代医療センター神経小児科）

P1-15-1 バルプロ酸とゾニサミドにペランパネル追加投与がてんかん発作に有効であった SCN2A 遺伝子異常症の 1 女児例

The combination effect for perampanel added on valproic acid and zonisamide for the epileptic seizure of the patient with SCN2A gene mutation.

- 島川 修一、森 篤志、荻野 元子、畑中 マリ、利川 寛実、福井 美保、國貞 佳世、玉井 浩
大阪医科大学小児科

P1-15-2 Perampanel は Sturge-Weber 症候群による難治性てんかんに著効する可能性がある

Promising effect of Perampanel against refractory seizures in Sturge-Weber syndrome

- 沢石 由記夫
秋田県立医療療育センター

P1-15-3 初発の小児局在関連性てんかんに対するレベチラセタム単剤療法

Levetiracetam Monotherapy in Children with Newly Diagnosed Localization-Related Epilepsy

- 愛甲 浩志
宮崎生協病院小児科

P1-15-4 当院におけるてんかん発作群発例に対するレベチラセタム静注製剤の治療経験

Efficacy and tolerability of intravenous levetiracetam in status epilepticus

- 井上 賢治、熊田 知浩、柴田 実、日衛嶋 郁子、野崎 章仁、林 安里、森 未央子、佐々木 彩恵子、藤井 達哉
滋賀県立小児保健医療センター小児科

P1-15-5 レベチラセタム単剤投与症例の検討

Efficacy of Levetiracetam monotherapy in childhood epilepsy

- 桑島 真理、池田 尚広、小島 華林、松本 歩、長嶋 雅子、後藤 昌英、村松 一洋、小坂 仁、山形 崇倫
自治医科大学小児科

P1-15-6 イレウス解除術後にレベチラセタム静注製剤を使用した重症心身障害児の 2 例

Two SMID cases of epilepsy controlled by intravenous levetiracetam during postoperative fasting

- 一ノ瀬 文男^{1,2)}、福田 篤久³⁾、村守 克己³⁾、松尾 宗明¹⁾
 1) 佐賀大学医学部小児科 2) 佐賀県医療センター好生館小児科
 3) 佐賀県医療センター好生館小児外科

一般演題 ポスター P1-16

15 : 35 ~ 16 : 23

薬物治療 4

座長 : 三山 佐保子 (東京都立小児総合医療センター神経内科)

P1-16-1 EIEE から West 症候群に移行したてんかん性脳症に対し Vigabatrin を投与した一女児例

A patient with epileptic encephalopathy transited from EIEE to West syndrome treated with vigabatrin

- 阿部 裕、佐藤 亮、遠藤 若葉、植松 有里佳、植松 貢、呉 繁夫
 東北大学病院小児科

P1-16-2 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかんが疑われた良性乳児てんかんの 2 か月男児例

A case of benign infantile epilepsy mimicking epilepsy of infancy with migrating focal seizures.

- 近藤 博章、森岡 茂己、杉本 篤哉、田尾 克生、平野 聡子、石原 靖紀、春木 伸一、石原 義紀
 福井愛育病院小児科

P1-16-3 ラモトリギン高血中濃度による臨床発作抑制効果の検討

Clinical seizure effects by high serum levels of lamotrigine

- 西川 愛子、小国 弘量、大谷 ゆい、伊藤 進、衛藤 薫、永田 智
 東京女子医科大学病院小児科

P1-16-4 バルプロ酸の投与によりてんかん発症を抑制できた結節性硬化症の一例

A case of tuberous sclerosis in which the onset of epilepsy was prevented by valproate.

- 東田 好広¹⁾、郷司 彩¹⁾、森 達夫¹⁾、木下 ゆき子¹⁾、早瀬 康信¹⁾、香美 祥二¹⁾、井本 逸勢²⁾
 1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部小児科学 2) 徳島大学大学院医歯薬学研究部人類遺伝学分野

P1-16-5 VPA による Fanconi 症候群からくる病を来した重度心身障害児の一例

A case of rachitis caused by Fanconi syndrome due to valproate

- 矢野 珠巨、久保田 弘樹、高橋 郁子、野口 篤子、高橋 勉
 秋田大学医学部小児科

P1-16-6 欠神発作を初発症状とする特発性全般てんかんの臨床的特徴と第一選択薬の有効性の検討
Efficacy of the initial drug and clinical characteristics of idiopathic generalized epilepsy with absence seizure

- 元木 崇裕、日野 香織、城賀本 敏宏、福田 光成、石井 榮一
愛媛大学医学部附属病院小児科

一般演題 ポスター P1-17

15 : 35 ~ 16 : 23

その他の検査・治療

座長：本田 涼子（国立病院機構長崎医療センター）

P1-17-1 成人難治性てんかんに対するアトキンス食変法導入の試み

Attempt to introduce modified Atkins diet against adult intractable epilepsy

- 澤渡 倫寧¹⁾、大日方 奈月¹⁾、小寺 庸平¹⁾、久保田 有一²⁾、伊藤 進³⁾
1) 朝霞台中央総合病院栄養科 2) 朝霞台中央総合病院脳卒中・てんかんセンター
3) 東京女子医科大学小児科

P1-17-2 Supra OA point injection technique Wada Test 5 例の検討

Five cases report : Supra OA point injected Wada Test

- 増田 洋亮²⁾、坂倉 和樹¹⁾、滝川 知司¹⁾、丸島 愛樹¹⁾、早川 幹人¹⁾、松丸 祐司¹⁾、
石川 栄一¹⁾、藤本 礼尚²⁾、松村 明¹⁾
1) 筑波大学医学医療系脳神経外科 2) 聖隷浜松病院てんかんセンター

P1-17-3 治療に難渋しているグルコーストランスポーター 1 欠損症の家族例

A family case of glucose transporter type 1 deficiency syndrome with difficulty in treatment

- 原口 康平¹⁾、里 龍晴¹⁾、石井 敦士²⁾、廣瀬 伸一²⁾
1) 長崎大学病院小児科 2) 福岡大学医学部小児科

P1-17-4 超小型簡易吸入麻醉器（嗅ぎ注射器）によるけいれん重積初期治療の有用性検討

Ultracompact anesthesia inhalation aid device (VapoJect) for first-line treatment of Status Epilepticus

- 石北 直之^{1,2)}、高橋 章夫¹⁾、合田 司¹⁾
1) 国立病院機構渋川医療センター 2) STONY

- P1-17-5 ケトン食療法を行ったピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症の 1 例**
 Safety and efficacy of ketogenic diet in pyruvate dehydrogenase complex deficiency
 ○古城 真秀子¹⁾、木下 真幸子²⁾、井上 拓志¹⁾、久保 俊英¹⁾
 1) 国立病院機構岡山医療センター小児科 2) 国立病院機構宇多野病院神経内科

- P1-17-6 Infantile spasms にケトン食が奏効したミトコンドリア DNA 枯渇症候群の 1 例**
 Successful management of infantile spasms with ketogenic diet : a case of mitochondrial DNA depletion syndroms
 ○中尻 智史¹⁾、吉田 阿寿美¹⁾、榊原 尚子¹⁾、永瀬 静香¹⁾、平田 量子¹⁾、橋本 総子¹⁾、石森 真吾¹⁾、阪田 美穂¹⁾、佐々木 香織¹⁾、谷中 好子¹⁾、親里 嘉展¹⁾、西山 敦史¹⁾、白井 丈晶¹⁾、米谷 昌彦¹⁾、池田 真理子^{2,3,4)}
 1) 加古川中央市民病院小児科 2) 神戸大学大学院医学研究科子ども急性疾患学
 3) 神戸大学大学院医学研究科遺伝子診療部性疾患学 4) 神戸大学大学院医学研究科遺伝子診療部

一般演題 ポスター P1-18

15 : 35~16 : 23

精神症状

座長：岡崎 光俊（国立精神・神経医療研究センター病院）

- P1-18-1 私立精神科病院における心因性非てんかん発作症例の検討**
 A study of patients with PNES in a private psychiatric hospital
 ○伊藤 光人¹⁾、原 広一郎¹⁾、秀野 武彦^{1,2)}、浅井 禎之¹⁾
 1) 浅井病院精神科 2) 浅井病院内科
- P1-18-2 脳外科てんかんチームより精神科併診依頼のあった症例の精神科的特徴**
 Psychiatric comorbidity of patients in epilepsy treatment team
 ○高木 俊輔^{1,2,3)}、稲次 基希⁴⁾、原 恵子⁵⁾、前原 健寿⁴⁾
 1) 嬉野が丘サマリヤ人病院 2) 東京医科歯科大学附属病院精神神経科
 3) 九州大学大学院医学研究院精神病態医学共同研究員 4) 東京医科歯科大学附属病院脳神経外科
 5) 原クリニック
- P1-18-3 てんかん患者で生じた周期性精神病の経時的脳波周波数解析による検討**
 Consecutive EEG frequency analysis of periodic psychosis in a patient with epilepsy
 ○東 英樹、明智 龍男
 名古屋大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学

P1-18-4 心因性非てんかん性発作に対する集団認知行動療法の試み

Trial of the CBT-based group psychotherapy for Psychogenic Non-epileptic Seizure

○倉持 泉^{1,2)}、山口 しげ子³⁾、山本 泰輔¹⁾、宮川 希¹⁾、和田 陽子⁴⁾、村田 佳子¹⁾、渡邊 さつき¹⁾、渡辺 裕貴¹⁾、岡崎 光俊¹⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター病院精神科 2) 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
 3) 国立精神・神経医療研究センター病院看護部
 4) 国立精神・神経医療研究センター病院精神リハビリテーション部

P1-18-5 発達障害特性を示す心因性非てんかん性発作を有する患者への心理学的介入

A psychological approach to patients with psychogenic non-epileptic seizures and autism spectrum disorder

○山崎 美鈴、杉山 修、大星 大観、山口 解冬、藤岡 真生、中岡 健太郎、木村 記子、池田 浩子、西田 拓司、重松 秀夫、井上 有史
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター**P1-18-6 進行性ミオクローヌスてんかん 4 症例の長期フォローアップ：ミオクローヌスの病態と精神疾患の合併**

Long-term follow-up of 4 patients with progressive myoclonic epilepsy : pathophysiology of myoclonus and psychiatric commodities

○漆畑 伶、林 泰壽、平出 拓也、松林 朋子、福田 冬季子
浜松医科大学小児科**一般演題 ポスター P1-19**

15 : 35~16 : 23

外科治療 1

座長：橋詰 清隆（いずみ記念病院脳神経外科）

P1-19-1 開頭術後の難治性てんかんに対する外科治療の有効性について

Effectiveness of operation for intractable epilepsy after cranial surgery

○横山 智哉¹⁾、須永 茂樹²⁾、大塚 邦紀²⁾、神保 洋之²⁾、斎田 晃彦¹⁾
1) 東京医科大学茨城医療センター 2) 東京医科大学八王子医療センター**P1-19-2 内側側頭葉てんかんにおける海馬硬化の有無とてんかん術後予後**

Postoperative prognosis of mesial temporal lobe epilepsy with and without hippocampal sclerosis.

○茶谷 裕¹⁾、重藤 寛史¹⁾、赤松 直樹¹⁾、大原 信司¹⁾、恒吉 正澄²⁾、鈴木 諭²⁾
1) 福岡山王病院てんかん・すいみんセンター 2) 九州大学大学院医学研究院神経病理学

P1-19-3 難治性てんかんにおける側頭葉海綿状血管腫に対する occipital approach による海馬てんかん原生の評価

Evaluation of Posterior Hippocampal Epileptogenicity During Epilepsy Surgery For Temporal Lobe Cavernoma by the Occipital Approach.

○秋山 幸功¹⁾、江夏 怜¹⁾、越智 さと子¹⁾、宮本 享²⁾、三國 信啓¹⁾

1) 札幌医科大学医学部医学科 2) 京都大学医学部脳神経外科

P1-19-4 癲痕脳回を病因とする難治てんかんの外科手術：頭蓋内電極による切除範囲設定の意義
Resection surgery for intractable epilepsy with ulegyria : The value of Intracranial EEG

○池谷 直樹¹⁾、岩崎 真樹¹⁾、金子 裕¹⁾、木村 唯子¹⁾、齋藤 貴志²⁾、中川 栄二²⁾、須貝 研司²⁾、佐々木 征行²⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター病院てんかんセンター脳神経外科

2) 国立精神・神経医療研究センター病院てんかんセンター小児神経科

P1-19-5 経過中に新たに造影効果が出現してきた DNET の 1 例

MRI demonstrated appearance of enhancement before surgery in a patient with DNET : A case report

○黒田 直生人、山本 貴道、山添 知宏、飯島 健太郎、中戸川 裕一、金井 創太郎、岡西 徹、藤本 礼尚、榎 日出夫

聖隷浜松病院てんかんセンター

P1-19-6 Broca・Wernicke 両領域近傍にてんかん焦点を有する結節性硬化症患者に対する覚醒下てんかん手術

An awake-surgery case of tuberous sclerosis complex with multiple epileptic foci surrounding Broca and Wernicke areas.

○新美 恵子¹⁾、岡西 徹²⁾、藤本 礼尚²⁾、金井 創太郎²⁾、西村 光代^{2,3)}、榎 日出夫²⁾

1) 聖隷浜松病院リハビリテーション部 2) 聖隷浜松病院てんかんセンター

3) 聖隷浜松病院臨床検査部

一般演題 ポスター P1-20

15 : 35~16 : 23

外科治療 2

座長：田村 健太郎（奈良県立医科大学脳神経外科）

P1-20-1 てんかん性 spasm に対して脳梁および脳葉離断術を行った 2 症例

Two surgical cases of recurrent West syndrome.

○佐々木 亮太¹⁾、田村 健太郎¹⁾、朴 永銖¹⁾、中瀬 裕之¹⁾、星田 徹²⁾

1) 奈良県立医科大学医学部脳神経外科 2) 国立病院機構奈良医療センター脳神経外科

P1-20-2 遺伝子異常によるてんかんに対する脳梁離断の有効性

Efficacy of corpus callosotomy for intractable epilepsy patients with gene mutation

- 住友 典子¹⁾、齋藤 貴志¹⁾、須貝 研司¹⁾、池谷 直樹²⁾、岩崎 真樹²⁾、竹下 絵里¹⁾、
本橋 裕子¹⁾、石山 昭彦¹⁾、中川 栄二¹⁾、廣瀬 伸一³⁾、石井 敦士³⁾、加藤 光広⁴⁾、
水口 剛⁵⁾、松本 直通⁵⁾、佐々木 征行¹⁾

- 1) 国立・精神神経医療研究センター病院小児神経科
2) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科 3) 福岡大学医学部小児科
4) 昭和大学医学部小児科学講座 5) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学

P1-20-3 結節性硬化症の転倒発作に脳梁離断術が有効だった 3 例

Three cases of TS patients who disappeared drop attack after corpus callosotomy

- 徳永 英恵¹⁾、稲次 基希¹⁾、大仲 佳祐¹⁾、タンマモングッド ティブアーバ²⁾、橋本 聡華¹⁾、
清水 一秀¹⁾、前原 健寿¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学脳神経外科 2) 土浦協同病院行方地域医療センター

P1-20-4 難治性てんかんに対して外科的治療を行った結節性硬化症の 4 例

Four cases of tuberous sclerosis complex undergoing epilepsy surgery

- 下田 木の実¹⁾、佐藤 敦志¹⁾、國井 尚人²⁾、柿本 優¹⁾、竹中 暁¹⁾、太田 さやか¹⁾、
岡 明¹⁾、水口 雅³⁾

- 1) 東京大学医学部附属病院小児科 2) 東京大学医学部附属病院脳神経外科
3) 東京大学大学院医学系研究科発達医科学

P1-20-5 早期手術を行い発作抑制が得られた乳児結節性硬化症の 2 例

Two cases of infantile tuberous sclerosis treated with lesionectomy

- 佐々木 達也¹⁾、上利 崇²⁾、西本 静香³⁾、秋山 麻里³⁾、遠藤 文香³⁾、岡 牧郎³⁾、
秋山 倫之³⁾、小林 勝弘³⁾、伊達 勲¹⁾

- 1) 岡山大学大学院脳神経外科 2) 倉敷平成病院脳神経外科 3) 岡山大学大学院小児神経科

P1-20-6 結節性硬化症小児期手術症例の発達予後

Neurodevelopmental outcomes of pediatric epilepsy surgery for intractable epilepsy with tuberous sclerosis complex

- 小池 敬義、臼井 直敬、大松 泰生、堀野 朝子、吉富 晋作、山口 解冬、大谷 英之、
池田 浩子、今井 克美、重松 秀夫、新田 直樹、近藤 聡彦、高橋 幸利、井上 有史
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター